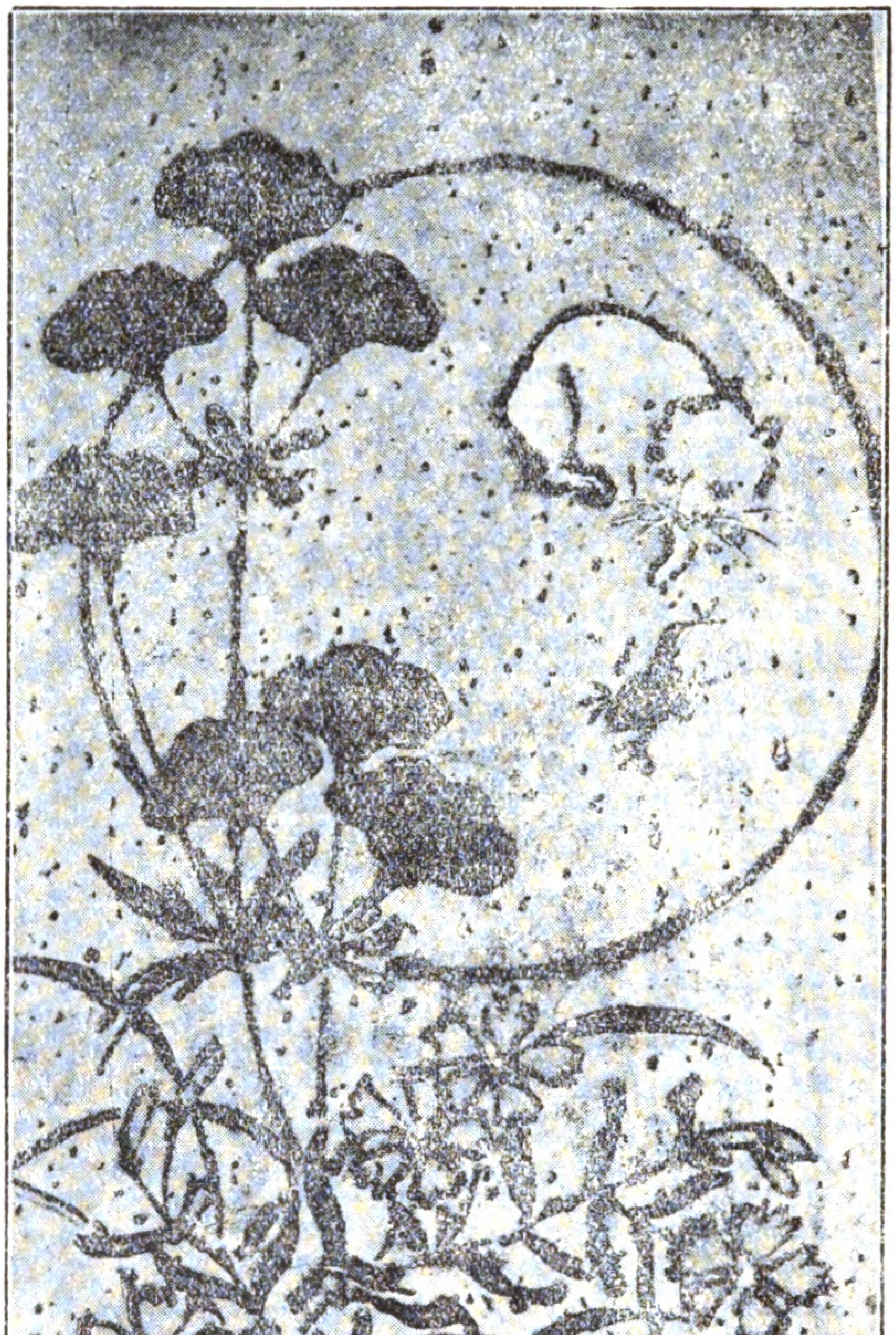
大正六年六月二十八日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
大正六年十月一日發行（大正六年九月二十五日印刷納本）
友愛婦人　第十號



友愛婦人

十月號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛婦人趣意

世の中は男ばかりの世界ではなく男ばかりで保つて行くものではありません。人間の半分は女で、女の心懸けやう、働きやう一つによつて、此世をば明るくもし、暗くもすることが出來るのであります、友愛會は勞働の品位を高め日本の勞働者の境遇を改めやうとして起つた團體であります。か之まで重に男の人達のために働いて參りました。併し男と同じやうに工場や其他の所で働いて居る婦人又は男を助けて家庭の内で働いて居る婦人方のために、何事か致さねばならぬと云ふ感じが此頃特に著しくなりました。そこで茲に友愛會に婦人部を設け、追々といろ／＼の事業をしたいと思ふのであります。

友愛會婦人部規則

第一條 本會は之を友愛會婦人部と稱し本部を其中心とし各支部内に其地方々々の事務所を置くことゝ致します。

第二條 本部に納める誌代は十錢であります。

第三條 本會は左の如き事業を行ひます。

一、出版部 雜誌『友愛婦人』を毎月一回發行し其他有益な書物を出版致します。

二、講演部 度々講話會を開き餘興を加へて會員の修養娯樂の便を圖ります。

三、人事相談部 會員の爲めに手紙又は面會等の方法に依り種々の相談事に應じます。

四、表彰部 會員の中にて人の模範になる行ひをした人のある時は或は賞金を贈り或は雜誌に寫眞を掲げて其名譽を表彰致します。

五、内職奬勵部 家庭内の婦人の爲めに種々の内職の教授又は奬勵を致します。

其他必要ある時は右の外諸種の事業を創めることに致します、

第四條 本會に入會を望み又は本誌の讀者とならん事を望まるゝ方は規定の料金を添へ幹事又は委員まで申出られたいのであります。

第五條 右の外は適宜に行ふことゝ致します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

みどり看護婦會

看護婦

□本會は、廣く病院、醫家、患家の需めに應じて、看護婦を派遣す

□御申込は、電話その他便宜の方法に依られたし

産婆

□本會には、熟練なる産婆を置きて、姙婦診察、分娩取扱の需めに應ず。
但貧困のお方には特に無料にて取扱ふ

□御申込は看護婦に於けると同じ

みどり看護婦會
東京市本所區緑町一ノ四二
電話本所五八番

みどり看護婦會附屬　看護婦養成所見習募集

今回、本會事業擴張の爲め、看護婦養成所を開設す、設立の趣旨は、現今の時弊に鑑み、尤も精神的の看護婦を養成して、廣く世の中の供給に應じ、各、天職を完ふして、自他共益の途を講ぜんことを期するもの也。

（一）目的
看護學及實地を修業せしめ、別科として普通學の薫育を施すものとす

（二）採用
志願者の資格は、年齢十五歳以上、二十歳迄とし、身體健强、尋常小學卒業のものたるを要す。

（三）修業年限
滿三ケ年にして、費用は一切本會の貸費支給なるを以て、食料、被服等毫も父兄を煩すことなし。
但し此期間中、本會の許可を經ず、中途にして退學を爲したる時は、養成中の費用は、保證人に於て相當の辨償を爲すべきものとす。

（四）義務年限
修業三ケ年後、滿一ケ年と定む。
但し、此期間中は、本會の指揮に隨ひ、各其職務に從事し、其獲得したる勞酬の十分の六は、本會養成中の費用に編入し、十分の四を以て、各自其供與を受くるものとす

（五）行動
在學勤務中は、刻苦精勵、能く本會の命令を恪守し、特に遊惰放逸の惡俗を戒むべきものとす。

（六）募集人員　三十名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『友愛婦人第十號』目次

表紙

秋草……

卷頭

後の月……

本欄

內助と內妨……友愛會々長　鈴木文治…六
フロレンス、ケレー女史……油谷治郎七…八
新時代の看護婦……みどり看護婦會長　小山淸…一一
世間の出來事……坂本正雄…一三
變つたおはなし……秋山靜香…一六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

着物のおはなし……小野玉枝……三
馬鹿囃物語……坂口としざ……一六
烈女綱子……上野あき子……一八
教育講談 紀文二代……三浦樂堂……二一
百事問答……一記者……二六
小說 御祭禮の舞臺……平澤紫魂……二九
お猿と虎（オトギバナシ）……四九
十月の手紙……記者……五二
判じ繪……五五
友愛文藝……五六
婦人部便り……六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛婦人記者　坂本正雄著

〔定價金卅錢〕　郵税四錢

二十世紀之男女

友愛會員は本部へ直接申込めば一册送料共二十四錢とす（一切前金）

大好評

進歩的宗教の眞締と、婦人問題の新研究と、立憲政治の根本義と、社會政策の大理想と、廿世紀男女の覺悟とを青年著者が聖靈に滿されて記述せるの書也

朝日新聞は本書を眞面目なり書なりとし、讀賣新聞は本書を興味ある書なりと做せり。浮田法學博士は著者を以て着實而も新しき青年なりと紹介し、三並教授は著者を以て徹底的信仰を持するの人なりと讃せり。更に茅原華山氏は著者に一書を與へて世の浮薄なる青年を呪ふと共に、生活問題を解決せんとせり。右三氏の文章は本書の卷頭卷尾を飾り錦上更に花を添へたるの觀あり。

發行所　東京銀座　警醒社書店

振替東京五五三番　電話新橋一五八七番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内助と内妨

友愛會々長　鈴木文治

世の中でよく良人を助けて出世させた婦人のことを、内助の功ありなど、申します。これはつまり妻たる婦人がよく家庭を治め子供の教育から舅姑の世話まで手が届いて、良人をして家のことには一切心配させず、其全力を仕事の上に注がせることを申すのであります。

婦人のつとめは矢張私は家庭にあると思ひます。婦人の方で結婚せずに、男同様の仕事をして一生を送る人もありますが、斯ういふ方は極く例外であつて、誰れでも眞似をすべきものではありません。そこで既に結婚をして、家庭の人となつた方は勿論、まだお若い未婚の方でも、其積りで十分の御修養をなさるやう御勸め致します。

男として一家の主人となつた時に、だらしのない妻を持つた程不幸な不愉快なことはないのであります。男が外に出て一日苦勞をして歸つて來る時に、家の中がキチンと片付いて、笑顏で迎へる妻子の顏を見る時と、取亂した儘の汚い樣子を見るのとでは其心持に非常な違ひがあるものです。兎角男がグレ出して放蕩するやうになるのも、妻たる人の心がけに依ることが多いやうに見受けます。私はこれを內助に對して內妨と申したいのであります。

私はタマに一生結婚せずに男のやうに働く婦人のあることを、別に非難する者ではありません。併しこれは例外のことであつて女としては家庭を整へ、良人を慰め、子供を敎育する丈けの力がなければ、先づ一人前とは申されません。皆さんの中には既に一家の主婦たる人も、未婚の處女もありませうが、どうぞ立派な內助の人となつて下さい。忘れても內妨の人とならぬやうにと祈る次第であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

フロレンス・ケレー女史

油谷治郎七

「人生に眞に無くて叶はぬもの、即ち餘裕ある時間や、健康や、働ける仕事に對する正當なる報酬を正しく公平に分配したい」

こう云ふやうな考は、フロレンス●ケレー女史がコーネル大學に在つた若き娘の時から、絶へず心のうちに動いてゐた。大學を卒業してから、虚榮心や利慾心からでなく、潔き尊き心に導かれて、其一生を勞働問題の解決のために獻げた手初にエンゲルス人の有名なる「英國の勞働階級の狀態」と云ふ書を獨逸文から英譯した。そしてシエーン●アダムス孃が、勞働者の友としてシカゴ市で設立したるハル、ハウスと稱へる社會殖民事業を助ける事になつたのは千八百九十二年即ち其創立後三年目であります一方にはイリノイ州の勞働統計局の囑託を受けてシカゴ市の貧民窟に住む人々の縫仕事を實地に調査したり、米國政府の囑託によりて同市の貧き勞働者の生活狀態を調査した。

是等の實驗は若きケレー孃の胸に益々深く獻身して彼等のために盡さばやとの決心を固めさしたのであります。

千八百九十三年から千八百九十七年にかけて、五ケ年間イリノイ州の工場監督課長を勤めた。米國に於て工場監督は如何にすべきものであるかと云ふ標準を示したものであると今日も評判せられてゐます。

千八百九十九年から、ナショナル、コンシユーマ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ースリーグ(米國消費者同盟)と云ふ強き力ある團體の主幹として働いてゐます。此同盟は米國の商工業の進むでゐる十四州に跨つて有力なる支部を有するのみでなく、英國、フランス、ドイツ、スヰッツランドの四國にある同種の同盟とも聯絡を有するもので、商店に働く事務員でも、工場の女工でも、凡て生活に足るだけの正當なる給料を受けることが出來るやうに、又其製造品即ち商品が傳染病毒や不潔なものを付けてゐずに、極て衛生的な狀態にあつて製造販賣せられるやうに、消費者が同盟して監督するものであります。ニューヨークでも、シカゴでも、ボストンでも、ロンドンやパリーやベルリンやゼネバの有名なデパートメントストアでも、消費者同盟の是認したる工場の製造品でなければ、販賣することはありませぬ。

フロレンス　ケレー女史

ケレー女史は消費者同盟を率ゐて過度なる女子の勞働時間を制減するために勇ましく、戰ひ法廷で爭つて終にオレゴン州や其他で勝利を占めました。更に又十年計畫で各州に女事務員や女工のために最低賃銀法を設けしめて之を保證するやうにする最低賃銀課を置かしむるやうに運動してゐますが、米國東部の諸州では着々成功してゐます。又二十一以下の若き女子で商工に從事するものは、强制的に半日だけ高等女學校に學ぶことの出來るやうに盡してゐます。

フロレンス、ケレー女史が世人の爲に盡す働は、近頃益々多く成つて來ました、米國政府の內務省に小兒局と云ふ一局を設けて少兒の安全と進歩のために盡すやうに發案し又設けるやうにしたのもケレー女史であります。ニューヨーク市の下町に餘り多く、人々が群

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

居してゐるために、多くの罪と害とを生むのを示して、極力其の防止につとめるやうに輿論を喚び起したのも、ケレー女史の演説が始であります。近くはニユーヨーク州の憲法改正委員に選ばれまして婦人も男子と同じやうな資格を持てるやうに盡してゐます。

フロレンス、ケレー女史の性格と事業とを親しく視ますと、四つのてとが著しく私に感ぜられます、一は勇敢で義を見て畏れませぬ、二は全く平民的で誰人に對しても親切と尊敬とを失ひませぬ、三は複雑せる事物の影に目はくれず、其事の內實にある人道の問題を直に捕へるに鋭敏なる方です。四は働く女子と小兒のことにかゝれば全く我が生みの娘と子供のやうに熱心に、而も一時的や皮相の手段でなく根本から、之を濟はうとする。

日本の何處にケレー女史のやうな方が居られるのでしやう。

小獸も耳澄ますらし秋の野邊

＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新時代の看護婦

みどり看護婦會々長　小山清

□看護婦は天使なり

人生に災害は種々あれど其中でも最も痛ましいは病難でありませう、こんなに苦しむ程ならば一思ひに死んで仕舞ひたいと思ふは、氣の弱い人でなくとも經驗する所でありますが、此時最も病人に慰安を與へるは醫者と看護婦である事は云ふ迄もありますまい。病み勞れた眼を見開いた時、看護婦の白衣の姿がどんなに神々しくも賴もしく思はれる事でせう病めば誰しも心弱くなるもの、いろ／＼のむづかしい心にもなるのだが、其心を安らかに其苦痛を柔げる看護婦の天職こそ、誠に尊いものではありやすまいか。

□看護婦の品性

其尊い職分を持てる看護婦が世間から反對に卑しまれ、心ある家庭では看護婦をお嫁に貰ふも厭ふやうな傾向なのは全體什麼したわけなのでありませう

それにはいろ／＼の原因はありませうが、第一に其品性の如何はしい人の多い故ではありますまいか看護婦も女、しかも年頃なれば何者にか縋りつきたいやうな氣分になりませうし、其弱點につけこんで魔の淵へと誘ひ行く人達も世間にはいくらもあります。それに時間が比較的自由になる。經濟的には其虛榮心を滿足させる程の收入が無い等の原因から知

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らず知らず品性の墮落を來して、其結果世間から卑しまれるやうになるのだらうと思はれます。特に看護婦にとつて最も恐る可きは、其主腦となる看護婦會の會長に人格の劣等な人の多い事であります。

東京市内の看護婦

現在東京市内の看護婦の數は正、準合して八千八百六十餘名ありますが、家事の都合で營業して無いものや田舍へ行つてゐるものやがありまするが故に東京での從業員は先づ五千名位であらう。看護婦會の數は二百餘でありますが、中には隨分如何しい不正看護婦會がありまして、まるで山出しの何にもわからず、藥品の取扱は愚か脈搏すら診る事の出來ぬ女を看護婦でござりまする と云つて一般患家に向け、相當の料金をとるのでござりまするが故に、隨分危險至極であらうと思ひます。しかもそれらの弱點を持ち居る看護婦會は夫れを隱さんが爲めには、病院の臺所から御機嫌伺ひに廻つて歩くと云ふが如き有樣であるのであります。

斯くの如くでは看護婦は天使である。神聖であるとは云ひ兼ねると思ひます。扨てこそ斯かる原因があつて、現在の如く看護婦が卑しまれるの結果になつたのであらうと思ひます。

人道の大罪人

看護婦の卑しまるゝは猶ほ忍ぶ可し、左れど其爲めに哀れなる病者の力になる可きが却つて不安を増さしめ、生く可き病者を死なしむるが如き事あらば之れ實に人道上の大罪人であると云はねばなりますまいと思ひます。しかも其爲めに社會よりは善良なる看護婦、確實なる看護婦會も亦疑はるゝに至つては、實に忍ばんとしても忍び得ざる事であります。

看護婦會革新の時機

しかも現今は看護婦の大拂底を來してゐて、先頃も他縣よりわざ〳〵多數の看護婦を雇入れて來たやうな有樣であります。此機運は今迄の經驗上將來もずつと續くものと思はれるが、此際看護婦會の一大革新を施し、善良なる看護婦を養成すると云ふ事は、小にしては自己防禦の爲め大にしては社會國家の爲めであらうと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世間の出來事

坂本正雄

▲ケレンスキー氏の夫人

三十六歲で總理大臣になつて居られる露西亞のケレンスキー氏は實に偉い人でありますが、今日の成功の原因は一には彼が大雄辯家であると云ふこと、二には彼の夫人が實に立派な奧樣であるからだと申します。

ケレンスキーの夫人は、美貌を以て有名なのみならず、慈悲と熱情の溢れて居る模範的の露國婦人であつて、多年政治的流罪犯人の救濟に努力し、同協會の幹事の一人でありました。同夫人の力によりて醵集された是等慈善事業の義捐金は、是迄少くとも百五十萬留に達して居ると云ふことです。男女勞働者に對する愛敬の念最も深く各方面に非常に評判のいゝ婦人であると申します。ケレンスキーの如き偉人の陰には斯かる立派な奧樣が內助の功を立てゝ居るのであります。

▲露西亞廢帝の末路

露西亞では革命の結果、大元帥皇帝たるアレキサンドル、ニコラス陛下は其の位を去り陸軍大佐に引下げられました、その上都に置いては爲にならぬとあつて、遠くシベリアの雪の野原に逐ひやられました。あゝ曩きには世界第一の財產家であつた露國皇帝は、今や

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

シベリアの曠野に寂しき生活をなされて居られます。皇后は獨逸から來て居られるのですが、いつも皇帝は皇后樣の云ふなりになつて、下々の人民を虐め、國の爲めに盡す眞面目な青年等を牢獄に打ち込み、そして自分達は有りとあらゆる榮華を盡して居たのでした。

▲また女子大學が出來る

新渡戸博士や安井哲子女史などを戴く女子大學校が此度東京府下新宿のほとりに建つと云ふことです。今ある目白臺の女子大學以上に規範を大きくし、生徒だけでなく一般志ある婦人にも時々講演をきかせて日本の各階級の女子を教育するのが目的であるさうであります。

フランスの兵器工場の女工さん

▲コレラの豫防

秋のはじめになりますと、赤痢やコレラなぞと云ふ惡い病氣が流行します。殊にコレラは最も恐るべき病氣であります。コレラは文明國には決してない、衞生思想の進まない國にはやる病氣だとせられて居ますから、私共は恁んな傳染病に罹らないやうに心掛けねばなりません

1、飲食に氣をつけること

2、吐嘔又は下痢をした時はすぐ醫者に見せること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

3、腐敗に傾いたものを食べないこと
4、すべて蠅がたかつた物を食べないこと
5、間食及び夜食をしないこと
6、生水を飲まないこと
7、常に適度の運動をすること

▲歐洲に戰へる海軍軍人を御慰問遊ばさる

天皇陛下には、地中海方面に獨逸の潜航艇を撃ち沈めて居る我國海軍の將士を御あはれみ遊ばされまして、海軍少將向井彌一氏に「お前は行つて慰問してやれ」と仰せられました。何と有り難いことではございませぬか。

▲成金退治と禁鐵

近ごろ工業界では二つの大問題があります。その一は政府が物價騰貴を防ぐため種々な品物の買占めをしてはならん、また無暗に外國へ輸出してもいけないと云ふ命令を出し、更に近々に戰爭の爲めに大儲けをした成金に向つて特別な税をかけると云ふことを定めたことです。

その二は、米國で此廢鐵を日本へ賣らないと云ふことを定めた事です、我國では船を造り、機械をこしらえ、鐵道を敷きなど致しますので澤山の鐵が要りますのに、內地では鐵が何程も出來ませんから、大概は米國から買ふのでしたが、然るに米國は戰爭中は鐵を賣らないと言つて居ます、鐵がなくなれば日本の工業はバッタリと止んで了つて職工なども困るのです將來どうなりますか心配な事です

▲友愛會の輸禁解除運動

それですから、友愛會の會員で鐵の來ないため大變迷惑する人が大勢ゐます。之れは一番鐵の來るやうに運動せねばならないと思ひまして、東京でも、神戸でも、大阪でも演說會を催し、又會長がいろ〳〵のお役所へ行つて鐵の來るやうに御盡力を願ふとお頼みになり、又米國の勞働同盟會長のゴムパース氏にも電報でお頼みになりました。委しくは今月の「勞働及産業」をお讀み下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

變つたおはなし

秋山靜香

（一）たゞのみ

或る勤人が月給日の歸り路に可愛い坊やに、お土産を買つてあげませうと思つて銀座の街をば歩いてゐますと、新發明の氣の利いた玩具を露店で賣つてゐたので、五圓札を出して夫れを買はうとしたら、生憎お剰がありませんからとおことはりを食ひました。こちらも懐中の中は生憎と五圓札と拾圓札ばかり、仕方が無いのであきらめて歸らうとしましたがふいと眼についたは其傍に店を出してある横町の居酒屋。まゝよ、お酒を一杯ひつかけて五圓札をくづして貰ひませうと思つて、あまり好きでも無いお酒を飲み、さて例の五圓札を出しますと、店の人はじろ／＼と其勤人を見てゐましたが、やがて、

「お酒代はお序の時でよろしゆうございます」

見ず知らずの人にお序の時でよろしゆうございますなぞとははておかしいわいと思ひましたが、よくよく考へると此頃は細いお錢に不足してゐて、兩換屋へ行つて崩して貰ふにしても、五圓では兩換賃を八錢とられるんですつて、だから結局其人はお酒のたゞのみをしたわけですが、さて／＼せち辛い世の中とはなりましたねえ。

（二）庖丁のかつ攫へ

世の中がセチ辛くなると盜人迄ひどい奴が出來て此頃では皆樣御存じの、あの「トウフ――」と呼び

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

流して歩く豆腐屋の賣子の、眞鍮の庖丁を専門にカッ攫つて歩く盗人がゐます相です。此間も三人の同商賣の賣子が同じ日に庖丁を盗まれて、お互ひにこぼし合つてゐましたが、惡く罪な盗人もあればあるものですね、一日二圓の賣揚で仕込の卅錢しか貰つてゐない賣子のものを盗まずとも、世間には金の使道に困つて、浮氣な風に湯水のやうな札ビラをぶちまいて歩く人もありますのにね、と云つて、そんな人のお金を盗んでも罪ではない事もありますまいが其盗んだ庖丁はいくらになるかと云ふに、六七十錢する庖丁を三十錢位に賣る相ですから、一日人目を憚り胸をびくつかせながら二丁宛盗んでも六十錢にしかならないぢやありませんか、そんな危い世渡りをするよりも、此勞働者の困つてゐる今日眞人間になつて勞働しろ。わかつたか、庖丁盗人

(三) 不良少女

全體勞働を厭ふ奴が盗人になつたり、其他惡い事をするんです。此頃の新聞を讀みますと、眞實に情無い事をする少女が驚く程多數ゐます。淺草の公園を巣として、其附近の料理屋や銘酒屋、吉原の廓の中を歩いて、皿小鉢やらナイフ、ホース等を掻浚ふ不良少年の團體があります其惡事がだん〳〵激しくなつたので、日本堤署では捨て置けずとあつて今迄に七十三名も警察へ引張つたが、それでも未だ破害が止まないので、九月になつてからも十人程の不良少年を捕へたが、其指揮役は青木お勝と呼ぶ十七になる娘でした。其部下には吉岡お喜乃と云ふ十四になる娘も混つてゐました女だてらにそんな事をするはいろ〳〵の原因もあらうが、一つは働く事が厭な爲めです。什麼かして、勞働の神聖を教へてやつて、眞人間にしてやりたいものですねえ。

(四) 怠惰者は死ぬ氣にもなる

怠惰者は又此樂しい世の中が厭なものになつて死ぬ氣にもなります。東京府下品川町北番場二十六大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

久保方同居飯田もり江と呼ぶ二十四になる娘さんは兩國橋の上から身投しやうとして巡査に助けられました。何故身投しやうとしたかと云ひますと、性來の怠惰者で奉公先に居付かず、上野公園をぶら〳〵してゐる所を、淫賣婦と見誤られたを殘念に思つたのだ相であります。命だけは助つてまづ〳〵結構ですが、怠惰者の精神を入替へねば今度は眞物の淫賣婦にならないとも限りません。何卒ぞ死んだ氣で怠惰の蟲を殺して下さい。

（五）大阪でも身投げ

大阪の西區九條上の町飲食店後藤えつの娘おみねんと云ふ二十五になる人も築港棧橋の上から身投げしましたが、之れも矢張船夫に救はれました。何故身投したかと云ひますと、數年前京都へ緣附き二人の子供まで擧げましたが不身持の爲め昨年離緣になつた。それでも前非を悔ゐもせず重ね重ねの不身持に母親を泣かせ、母親に嚴しく意見された爲め、不貞腐つて死んでやると云ふ氣になつたのだ相です助けられて母親へ引渡された後も親に食つてかゝり母親は持て餘して朝日橋署に說諭願をしたとの事ですが困つたものです、それと云ふも浮氣の罪、浮氣と云ふ奴は一ッはやけくその混つてゐるものです、一度操を破る。それが世間に知れるまゝよと云ふ氣になつて又別な男にだまされると云ふ風にだんだん深味にはまつて行き、果ては世間の笑者になつても自分が惡いとは思はず、現在の親に迄食つてかゝつて泣かせるやうになるのです、だから其最初がかんじんです、女はどんな事があつても自分の夫の外には肌身を許してはいけませぬ。

（六）誘拐された娘

殊に未だ世間知らずの十七八の娘さんは最も用心しなくばいけません、栃木縣下都賀郡寺尾村字大久保、小倉嘉一郎長女梅野（一七）は無斷家出した儘行衛不明、親達が心配してゐますと東京の麻布郵便局

の消印ある端書で「私は或者に誘拐されました、每日泣きの涙で暮してゐます。」と云つて來た。父親は吃驚仰天、直ちに東京へ來て尋ねたが、雲を摑むやうな尋ね者故かいくれわからず困つてゐる相ですが誘拐されたと云ひましても、まさか芝居でするやうに猿轡を嚙まされ引擔がれて行つたわけではありますまい。こちらがしつかりした心ならばおめ〳〵一人前の娘が誘拐されるやうな事はありますまいが、心のどこかに隙があるからツイだまされて一生をだいなしにして仕舞ふのです。若い娘さん達は御用心御用心。しつかりと心の紐をおしめなさい。

（七）恐ろしい鬼娘

堺市材木町東四丁質業虎間清次郎の娘のむめ（二七）は父の從兄弟の子供のときと呼ぶ十七歲になる低能者を虐待すると云ふ評判が高くなつたので、堺署で取調べると、事實は噂以上で、夏の炎天に物干の上でときに洗濯物の見張をさせ、ときが傍見でもしやうものならば苛め虐げるので、ときは印度人のやうに眞黒になり、身體中火傷其他の負傷の痕數十ケ個所あり虐待の證跡がはつきりしてゐる故、むめは堺署で取調べを受けてゐるとの事ですが、何とまあ驚いた鬼娘ではありますまいか、むめは高等女學校迄も卒業した身でありながら、何故其やうの事をしたかと云ふに、自分は家付の跡取娘なのに、餘計な厄介者だとときを邪魔にしての仕業です

勳章を貰つたロシヤの女兵隊

金があると心が鬼になる。恐ろしや恐ろしや、金が敵の世の中とはよく云つたものですね。

（八）模範女工の變死

之れとは反對に可哀相なお話があります。富士紡

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の靜岡縣小山工塲第二工場の寄宿舍の床下を大掃除した時、腐れ爛れた女の死體が現はれたので、大騷ぎとなり、係官が出張して取調べると、山形縣東田川郡新堀村奥山きの「廿一歲」の死體とわかりました。きのさんは二年前入社し貯金もあり模範女工として評判が宜かつたが一月前突然行衞不明になつたので、會社は失踪者として衣類貯金等を鄕里へ送り屆けたのでしたが、什麼して死んだのか殺されたのか、何しろ死體が腐り切つてゐるのでわかりませんが、何しろ御氣の毒のお話です。昔は工女さん達によくそんな話があつたものです。今はまさか昔あつたやうな事ではありますまいか、會社でよく其原因をお調べになる事を希望いたします。

（九）少女の抱合心中

女は弱いもの、浮氣でなく怠惰者でなくも又、人の爲め又自分の心の狹い爲め不幸な運に陷る事がいくらもあります。前の工女さんも或は左樣であらうかと思ひますが、此所に又自分達の感情の狂ふにまかせて、あたら花の蕾を散した兩人の少女があります。東京市本所區松倉町一の四九石川おゐの姪石川お喜代（一六）と本所區太平町二ノ四五齋藤周の孫お千代（一九）とが抱き合つて隅田川の流れで情死しました。兩人は柳島精工舍の工女であつたけれど、わけあつてお喜代は一ヶ月程前會社を止して奉公に行つたが、仲のよい兩人は戀しさ逢ひたさに堪まらず、戀人同志のやうに無理な首尾をしたり、手紙のやりとりをしたりして友情を慰め合つてゐたが、とう〱女同志の抱合心中をしたものと知れました。兩人とも兩親の無い不幸な身の上。探ぐれば人にも話されないやうな悲しいわけのあつたのかもわかりませんが、それにしても、

ロシヤの女への兵隊さん

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さりとは狭い胸の中、死ぬ程に思ふならば、死なずとすむ方法はいくらもあつたでありませう。しつかりと、誰しも此浮世の荒浪を渡るには強い心にならねばなりませぬ。此頃は婦人部へもそんな身の上の御相談をなさる人がちよいちよいあり

歐洲の交戰國では男がみんな兵隊に出て、工場へ行く人がありませんので、女が工場で仕事をせねばならなくなりました。此お寫眞は英國婦人が工業學院で工業教育を受けてゐる所です。

ます。皆様のお友達でもそんな悲しい身の上の人があつたらお知らせ下さい。諸共にお力になり合ふではありませんか。

（十）賊を走した十一歳の少女

あまり悲しい話や、よくない娘さんの話やらが續きました故、今度は勇氣のある健氣な少女のお話をさして戴きたい。小石川區原町會社員横井仙藏方の子守女の青木とくと呼ぶ十一歳になる少女が主人の使を果して歸りますと、門口は明け放された儘宅の人は不在、座敷には見馴れぬ廿五六歳の袴を穿いた男が簞笥の抽斗を引抜いて衣類を掻き廻してゐる故てつきり泥棒と普通の子なら顔色變へてがた〱顫ひ出すのでせうが、其所が強いおとくさんの事とて早速交番へ驅けつけやうとすると、賊は夫れと見て矢庭にお徳を突き倒し、風呂敷包を抱へて逃げ出したので、お徳は起き上ると同時に持つてゐた洋傘で賊の背を打ち、泥棒泥棒と大聲で呼びながら追ひかけたので、賊は敵はずと風呂敷包を投出し、逸散に逃げ去せました。盗難品の無事だつたのは十一歳の小娘の力です。健氣な娘よとお徳は富坂署から賞められました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衣服のおはなし

小野玉枝

第一回

椽近く千草にすだく虫の音は、ツヾレサセ〳〵と鳴き、袖ふく風のヒヤ〳〵と思はず衿かき合せては、あゝ秋だと一人言何んとなく女の心は忙はしうなつて、冬着の心配も自ら湧いて參ります。ほんとうに衣服といふものも随分世話の焼けるものでございます。世の中にはなか〳〵着物のために心を苦しめて居る人も多くあるやうでございます、殊に女の人はやれ着物がなくて何處へも行かれないのなんのと、着物のために大切な自分の義務や責任さへ忘るゝ人も多いやうでございますが、而し着物は決してそんなために着るのではなく、もつと大切な務めを以つて居ります、今から少々御話して見ませう。

(一)衣服の目的
- (イ)衛生上
  - 一 體温調節
  - 二 皮膚を清潔にすること
  - 三 外界の危害を防ぐこと
- (ロ)社會上

まあ少なくもこれ丈の働きをもつて居ります。

(イ)衛生上の中

(一)體温調節とはどんな事でせう

私共の身體は健康な人でございますれば、常に攝氏の三十七度位の體温を以て居ります。そして私

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

共の周圍の（あたりの空氣）溫度が三十五度から二十五度位の時にはまあ裸體でも我慢が出來ますけれど、二十五度から以下になると、だん〳〵寒くなつて猶溫度が下ればおしまいには戰慄のし通しになります。

　こんなときに衣服は非常な働きを致します、一枚より二枚二枚より三枚と重ぬればなほ溫く、寒氣を防ぐ事が出來ます。處が又反對に眞夏の日ジリ〳〵した日光にさらされてごらんなさい隨分暑いではございませんか。そんなとき一枚でも衣服をまとへばそれ丈炎熱を防ぐことが出來ます。丁度洋傘をさして日光をよける樣なものです、そうすれば衣服は寒いときにも又暑いときにも大事なものでございます。

（二）皮膚を清潔にすること

　吾々の身體からは常に隨分不潔なものが多く出て居ります、炭酸瓦斯アンモニア、食鹽脂肪などその外いろ〳〵なものがございますが、これを一口に垢と申して居ります、處でこの垢を私共の着物殊に下着襯衣はよく拭ひ取つてくれます。

ドイツの兵隊は毒瓦斯に敵國の兵隊を苦しめてゐます。それを防ぐ鼻口覆を英國の婦人がこしらへてゐる所です

　西洋人は日本人に比べまして入浴の度の少ないにもかゝはらず、よく皮膚の淸潔を保つことの出來るのは下着を度々とりかへるからでございます。ですから日本人もよく入浴した丈りでなく、常によく洗濯した下着を着換へるといふことは大事なことでございます。

（三）外界の危害を防ぐべし

　私共は常に朝から夕まで立ち働いて居りますが、もし衣服といふものがなかつたら、ずいぶん危險極ることだらうと存じます、御覽なさい人間が怪我をするのは多く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手とか足のやうに、露出して居る部分に多うございます。だから頭のやうに大切な部分は天然にビロードのやうな毛を着せてはこれを保護して居ります。全く私共の衣服はよく身體の危害を防いでくれます。

(一)社會上

私共は常に多くの人と交際をしなければなりません、而して常に人の品位を保つためには、高き卑しきそれ〲相應した衣服を身にまとふて居ります。

又いろ〲贈訪、祝賀、吊祭の時期に從つて、適當な服裝をすることは社會上、即ち人としての禮儀作法を守る上から最も大切なことでございます。

こう考へて參りますれば、着物は全くいろ〲な必要によつて着るので、單に着物にとらはれて餘計な心配をする事の馬鹿らしいと云ふことも自ら理解して參ります。

扨て次ぎには衣服の手入保存法について少々話して見ませう。涼風が立つて晴々した御天氣つゞきの今日此頃は、今迄着古した衣類を仕末したり、又虫干などをするには一番いゝ時でございます。

(二)衣服の手入保存法

(イ)虫干
(ロ)藏め方
(ハ)雜件

(イ)虫干の仕方

一、日和を選ぶこと　前後に晴天の續いた時を選ぶこと。其日ばかりは天氣が良くても、前の日に雨天であつたり又明日あたり降りそうなときは、濕氣が多いので着物のためによくありません

一、場所、風通しのよい部屋を選んで、よく麻繩や衣紋竿をきれいにして、都合よく張つておきますつなや竿から衣服によごれのつかぬ様に、

一、時間　午前八時頃から擴げて丁度午後の三四時頃まで、餘り朝早くや夕方には濕氣をこんでよくありません。

一よごれや、褪色の注意

よごれのひどいものは成る丈日光に多く當てゝ干します。袖口や衿の垢に注意して、よごれの程度によつては局部洗ひ(ツマミ洗ひ)或は全部洗ひ張りをする様にします。

色のさめ易い様なものは、日光に直接當らない様に成る丈室内にするか、或は白布などを被よてほします。

一黴と汚點

黴は充分かはかして後でブラシカ或は乾いたタオルで輕く磨擦して取る。

汚點といふのは、せきゆとか酒等のついたものですがこれは小さくも投ておけばだん〳〵大きくなりますから、早く仕末する様に、

一破損

車とか針のため、其他煙草の吸殻ほころびなどの小さな破損でも見出したならば、直ちに手を入れておくこと。

一入物

着物ばかりでなく、同時に入物を充分ほすこと、竹籠ならば干して後、干いた切でぬぐひ、簞笥ならば同じく日陰で干して桐材なら南蠻水を布にひたしてぬぐふと虫を防ぐことが出來ます。

（ハ）藏め方の注意

一着物の區分

地質による區分、たとへば絹物とか木綿、毛布麻と成る丈同じ種數のものを一所にした方がよい。

フランスの兵營動員室の女書記

一使用途による區分　晴着、常着をよく仕分けておくこと、又上着、下着、季節、等によりて分けておくこと。

一よごれの程度による區分　よごれたものと、淸いものと一供にすると、大變に惡うございます

一入れ方

丁寧に疊んで皺を出さない様にし着物を入物に重ねて入れる時は交互に重ねてフキ糸のつぶれぬ様にすること。

袂の中に物を入れておかない様に、

羽織の紐などは、はづして別に紙に包んでおくこと、紋の處へはあて紙（櫻紙がよい）をして汚れを防ぐ、色の褪め易いものは風呂敷に包んでしまっておく帶を殊に結目に皺や折を出さない様にすること。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ムカシバナシ

馬鹿囃物語

坂口としざ

秋が來ました。これからは街でも田舍でも諸所で、賑かなお祭禮が行はれるでせう。そのお祭禮に因んで、こゝに馬鹿囃子のお話を致しませう。

一體馬鹿囃の抑もの起原は、德川時代享保年間(今より二百年ほど前のこと)武藏の國葛西金町村の鎭守香取明神の能勢環といふ神主さんが、村内の若者達を集めて「和歌囃」といふ一種のお囃子を敎へて、同明神の祭禮に用ひたのが濫觴だと申します然るに、それから少し下つた寶曆年間、この馬鹿囃子に就いて、聞くも美しい物語が起りました。

寶曆四年(今より百六十年ほど前)の頃のことです。當時葛西の若者達は、誰れも彼れも皆揃つて怠け者ばかりで晝間は全然田畑へ出ないで寢て暮し、夜は夜で遲くまで遊び廻るといふ風で、心ある老人達は皆若い者の不行跡を嘆かないものはありませんでした。しかし村中の若者が揃つて怠け廻るのですから、鳥渡には手の下しやうもありませんでした。すると其頃、葛飾の代官の伊奈半左衛門といふ人が、種々頭を惱ました末、不圖妙策に思ひ付きました。それはこの馬鹿囃子の稽古を旺んに奬勵したなら、多少夜遊びは減るだらうと云ふのでした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

そこで代官は早速郡内の村長達を小菅の代官所に呼集めて、夫々村内の若者達に馬鹿囃の稽古を奨めるやうにとの命令を下しましたそしてその稽古の費用は自分が半分負擔する、なほ毎夜密かに稽古所を見廻るに付き怠らず精出すやうに申し傳へました。

そこでその年（寶暦四年）の夏には、東西南北何處の村々でも夜は必ず馬鹿囃の音を聞きました。三箇村とか五箇村とか聯合して稽古所を設けて、村役人が一生懸命に若者を呼集める。初めは厭々ながら無理に來たものが、稽古してゐる中に面白くなつて自身から進んで出掛けてくる。すると夜は稽古所へ來るために他處へ夜遊びには行かぬやうになる、その上晝間は精出して田畑に働くといふ風で、代官伊奈の妙策はうまく的中しました。そこで半左衛門も益々勢ひ付いて、なほ一層馬鹿囃の流行に努めました。

佛國工場の兒預かりところ

かうして五ケ年ほど經ちますと大太皷、締め太皷、チヤンギリ、笛といふ順序に卒業した者が、澤山に出來ました。

そこで代官から江戸町奉行に願ひ出まして、寶暦十二年の頃から江戸で有名な神田祭、並びに山王祭にこの馬鹿囃を加入さして貰ふことになりました。殊に此十二年の神田明神大祭には、當時の徳川第十代、家治將軍が御上覽になると云ふので、皆々勇み立つて花のお江戸へ同勢八十名が繰込んだのが同年九月十三日のことでした。この祭禮には家治將軍が吹上から行列を御覽になつたと申します。その翌十三年の六月、山王祭の際には總勢百八十人で行列に加はつて、その賑かな面白い囃子振りに見物の喝采を受けましたので、遂ひにこの葛西の馬鹿囃子は、江戸の祭禮には缺くことの出來ないものとなりましたのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

歴史物語

烈女綱子

上野あき子

京都の北に若狭といふ國があつて、その若狭の國の北の方に小濱といふ小さい町が御座います。その町に苔生した一基の墓があります、墓の表には「忠烈綱女の墓」と美しく書いてあるので御座います。

忠烈綱女！

綱女とは全體どのやうな人でありましたでせう。

* * * *

『昨日は庄屋の鷄を浚つた』『今日は糸家の一人息子が食はれたげな』といふ血生臭い噂は人から人に傳はつたそれは此頃狼が人家近くに現はれて人や家畜を浚つてゆくと云ふ噂でありました。

今迄平和に樂しく暮してゐた小濱の町人は不安と恐怖で慄え上り、親は子供の身の上を子供は親の身の上を案じて安い心もなくその日その日を過して居りました。田舍としては賑かだつた此町もモウ夕方になると皆戸を閉めて誰一人戸外を歩く者はなく、全く火の消えたやうに淋しくなつてしまひました。

ところが其町の或るお侍の家に綱といふ十五になる小娘が小守奉公をして居りました。ある夜主人の赤坊が餘りむづかるものですから月の明いのを幸ひその子を背に負つて戸外に出て『ねん〳〵ころいち……』とやさしい子守唄をうたつて子供を眠らせ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やうとしてゐました。と
不意に暗がりから怖しいうなり聲が聞えたかと思ふと一匹の大狼が突進して來て今にも飛びつかうと致しました。ト見るなり綱は主人の子供に怪我があつてはならぬとハツト身をかはし急に自分の裾をまくつてすや〳〵と眠つてゐる子供にかぶせ、自分は其儘俯伏してしまひました、狼は一聲高く吼えたかと思ふと、いきなりあらはにされた綱女の白い肌に食ひつき生々しい肉の一片を銜へて山の方へ逃げてしまひました。跡には紅の鮮血の中に最早や虫の息となつてゐる綱の苦しい呼吸と其背に猶ほ安眠を續けてゐる子供の快い呼吸が殘されてゐるばかりでありました。

まもなく町人達は此騷動を知つて大勢駈けつけ、倒れてゐる綱を助け起しました。綱はかすかに目を開いて背の子供の無事であることを告げ、最う是れで自分の義務は終つたと思つてか其儘其處に息絶えてしまひました。

主人の子を背中に負つた綱の遺骸が彼女の實家へかつぎ入れられた時、主人の妻も此事を聞いて驚き案じて實家に駈けつけました。綱の母親は靜かに眠りつゞけてゐる子を主人に手渡しゝながら、お子様

セルビヤの勇ましい女軍人

は血にはまみれていらつしやいますが身體には些しのお怪我もさせなかつたと云ふ事は私共にとりまして此上の喜びは御座いません、綱もさぞ滿足に思つて死んだで御座いませう、と雄々しくも涙一つ落さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ずに申しました。

この有様を傍で見てゐた人々は却つて同情の涙にかきくれたので御座いました。

このことが時の城主の耳に入り、非常にあはれがり家來に命じて『忠烈綱女の墓』と書いた大きな石碑を建てさせ、三日の間盛大な葬ひをさせられたといふ事で御座います。

＊　＊　＊　＊

この哀れな物語が即ち小濱の町に建つてゐる古い墓の由緒であります。

身はたゞ低い子守で、事は主家の子を救ふために命をすてたのみではあるが、その忠烈の志は楠公の戰死にも等しいものであると思ひます。

自分の行るべき事はせずに置いて、徒に權利とか義務を主張してゐる今の雇主や雇人には此齡僅かに十五歳の小女の行ひは洵に龜鑑とすべきであります

今の世では主人と雇人との間には段々と温い情と云ふものは無くなつてゆきます、この事は工場の工場主と工女さんとの間を見れば直ぐにわかることであります。だが然し世が進むに從つて主人と雇人との間が遠くなつて其間に主從の情けが無くなるのは仕方がないことであります。たゞ私が玆に忠烈綱女に學びたいのは身を棄てゝも自分の仕事をやり徹すと云ふ此美しい勇しい精神であります。如何に世が進みませうともこの精神は決して心から離してはならない事であります。

＊　＊　＊　＊　＊

明月やめくらの妻のなく夜かな　一茶

明月をとつてくれろと泣く子かな　一茶

小言いふ相手もあらば今日の月　一茶

＊　＊　＊　＊

かくれなく藻にすむ虫は見ゆれども
われからくもる秋の夜の月　西行

冒險
第一

紀文二代

三浦樂堂

一

安全第一といふ言葉が近頃大層流行ります。何でもアメリカで出來たものださうでありますが、出店たる我國に於ける流行の勢は本家本元のアメリカをも凌ぐだらうと思ふ程でありまして『アッ！危險いッ、お廢なさいよ。安全第一だわ』なんて言つた調子で、猫も杓子も連りに此安全第一を濫用いたします。是れも流行物なら缺かせるのは大和民族の耻辱だと思つてお使ひなさるなら、聊か之れ愛國心の發露、一概に惡いとは申上げませんが、眼をあげて海の外なる歐羅巴の天地を觀れば、一か撥か乘るか反るかの一六勝負に國の運命を賭けてやつてゐる今日に於て兎角世間に事勿れ、何より安全が第一だと老人染みたことをいつて小さくなつて顫へてゐたのでは致方がありますまい。

其處で私は冒險第一。世界の舞臺に一流と推される我大日本が是れから益々賣出す上に第一番の弱味は貧乏といふボーの始末のつかないことです。黄金が浮世に巾をきかせてからは隨分久しいものですが、其れが現今では一層激しくなつて、如何な才物でも黄金がなかつたが最後の助釜の中の章魚で手も足も出やアしません、之れが國際間、國と國との仲になると又一層はげしいので『國は貧乏でも兵さへ強かつたら』などゝ言つたのは昔の夢、今日では富國にあらずんば強兵を有つことはとても出來ないのであります。國が富んで兵が強ければ、其國はどん／＼榮えますが國が貧くて兵が弱かつたのぢやア他國のために亡ばされて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しまふか自滅してしまふか二つの他に用られないことになります。

然らばどうして日本國を富ませるか？。皆様の御各自が富豪におなりなさるより他に仕様がない。

さて一代に大金持にならうと思へば流行の安全第一主義では仕方がない。此所といふ極がついたら生死を天にまかせ、榮枯を運に托して思ひきつた事をやつてみるだけの度胸が肝要です。藉りに是れを私は冒險第一主義と唱へます、さて此主義を實行して第一番に大富豪となり紀文大盡と後世に美名を殘した紀文翁子の人物事業を御紹介して大に此主義の世に行はれん事を希望いたします。紀伊國は熊野浦の片隅に文三と呼ぶ貧しい百姓がありました。夫婦の間に二人の男の子がありまして兄を文平弟を平三と申しました。

文平は其時もう七歳になつてをりました。文三は貧しいながらも親の慈悲で、どうかして是れを寺小屋に入れてせめて自分の名前だけも書けるやうにしたいと思ひまして、本も古いのを安く買つてきて漸との思ひで文平を寺小屋にやつてみましたが、どういふものか文平は學問を嫌つて一向に何も覺えてくる容子がありません。さうして何が心に懸るのか小さな頭を捻つては運りに何か考へてをりました。

文三『文平や！』

文平『エ、』

文三『エ、ではねえ。われ毎日辨當をもつて何處へ行くだア。さつぱり師匠さまへは寄附かねえちうぢやねえか』

文平『行かねえでかね。毎日行つて習つてるだに』

文三『なに毎日行く……さうか。それだら聞くが何を習つて來た？。え、何を覺えて來た？』

文平『……』

文三『さ、何を習つて來たといふに……』

文平『…………』

文三は聲を曇らせて

文三『是れは、われはまア何といふ罰當りだ、爺が意氣地なしで讓り度くても汝に讓る物が何もねえからせめて、讀み書きの眼だけを明けて置いて吳れべえと、血の出るやうな金錢をかけて御師匠様に賴んできてあるだのに、われは何と思つて何も覺えねえだよ。そんな了見では大きくなつても碌な者には能うなるまい、大きうなつてから爺を怨んでも知らねえぞ。』

子を案ずる親の情けは淚と成り俯向いてゐる我子の橫顏を、うる

む眼に凝と見据えてゐました。
文平『爺、それはお前の間違ひだよ』
　言はせもはてず。
文三『な、なにが間違ひだ！な、なにがッ！』
文平『なにがつて……俺ア讀み書きが嫌いぢアねえよ。』
文三『そんなら何故習つてこねえ』
文平『だつて、だつて……それだつて、』
文三『だつて…がどうしたのだ！』
文平『俺ア他に心配があるもの』
文三『なにッしんぺえ？フーム』
　文三は毒氣をぬかれて、口あんぐり、今更らに我子の顏を見直してキヨト〳〵してゐる。
　文平は強いやうでも子供である父親の前では流石に思ふことを思ふ儘には言ひにくいと見えて、稍暫時躊躇つてをるやうでしたが聽て思ひきつて。

獨逸の女生徒が恤兵品を作つてゐる所です。

文平『爺は貧乏の中から俺に讀み書きを教へてくれるといつたけれども、幾ら讀み書きが出來たつても貧乏ぢやア仕方がねえや。御師匠様は讀み書きの先生だつて、名主様の前に出りやア平つく匐つて口も碌々利けねえぢやアねえか。其の名主様は――大きな聲では言はれねえが、自分の名が書けねえならまだしも、讀めねえと言ふぢやアねえか。俺は讀み書きよりも黄金を先きに慥らへて、黄金が出來たら其黄金をやつてお師匠様みたいな學者を抱へて置かア。』
　是れが數へ年七歳の子の口から出る言葉でありませうか。正直律氣の他に何の取柄もない父親文三は、のけ反るばかり驚いて二の句が繼げない。是れが自分の子だらうかとばかり、此の處アヒルを孵化した鷄宜し、といつた形がありました。

二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何處から拾ひ集めてきたか文平は長いのや短いのや太いのや細いのや雜然になつた一束の竹を裏の土間に擔ぎ込んで來て、朝から晩まで食事の間も惜しいやうに一心になつて何か細工を始めました。

先日の一言で度肝をぬかれた父親の文三は、何をするかと思ひながらも唯當人の氣まかせにして默つてみてゐるより仕方がありませんでした。

竹は文平の手で細く細く割られました。細く割られた竹の兩端には風切りがつけられて其の中央には小さい穴が明けられ、其の穴には更らに細い竹が通されました。かく簡單に出來上つた玩具をもつて文平は外に出で、風に向つて駈出しました。風切りの付いた正面の竹べらは急行列車の車輪のやうに迅く、速く目にも留らぬばかり早く廻りました、文平はニコニコして『占めたぞ、占めたぞ』と小さな聲で口の内に繰返しました。

貳百本の玩具を容れた箱を背中に、握飯の辨當を腰に『あゝら面白い玩具、竹蜻蛉はこれでござい』と氣まりわる相な顏はしながらも文平は出來るだけ大きな聲を揚げて町から町村から村を怒鳴つてあるきました。

絶えて玩具と名のつくものを見たこともない田舍の小供は、是れを見ると皆親にせがんで買つて貰はなくては承知をしないといふ有樣で、二百本ほど持つて出た玩具も夕方までには殘らず賣りつくしてしまひ、重い財布を首にかけた文平は莞爾して家に戻つて參りました。

其の翌日も又其の翌日も……恁うして恰度二十日餘りで文平は可成大きな金錢を儲けました。

文三夫婦は唯もう驚いて、悦んでホクホクしてをりました。

すると突然に、此の金箱息子の文平が病氣になつて馬鹿に熱が高い、サア大變と俄かに騷いで醫者よ藥よと手當の甲斐も見へないばかりか、果ては病人途法途徹もない囈語を言ひ出して段々眞物の狂人らしくなつて參りました。

今しも大きな聲を揚げ、手拍子足拍子の大亂痴氣、騷いで騷いで騷ぎぬいてゐた文平がばつたり仰向けに倒れたかと思ふと、早やグウグウの高鼾、其顏をツク〳〵と見入つて文三はハラ〳〵と涙をこぼしました。

何時か起上つてヨキト〳〵と四邊を見廻してゐた文平は、何時になく靜かな聲で

文平『おとつさん、おとつさん。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聲に文三は氣味わるわる

文三『何んだね……』

とは言つても容易は傍へも來ない。

文平『あはゝゝゝ。もう大丈夫ですおとつさん。永らく心配をかけたけれどタッタ今元の正氣に復つたから安心してくんなさい。其の正氣に復つたについて是非聞いて貰ひ度い不思議な話があるんだよ。』

言葉といひ調子といひ、どうやら正氣に違ひない。稍安心して膝を聊か進めると、文平は落ついて話し出しました。

文平『、、、、おとつさん永い間大變心配をさせましたが、世には不思議な事もあるものぢやアありませんか。私の病氣が重くなつて餘り熱が高いもんだから、つい熱に浮かされて夢中になつて騒いでゐたんだねするとたつた今、、、私の枕頭に現れた世にも尊い〳〵お方があるんだ。』

まだ蒼白い顔に血走つた眼を俄かに光らかして、今まで枕してゐた邊を凝視てゐました。まだをかしいなと思つた文三は兩腋に冷汗を覺へて口の內で南無阿彌陀佛々々々々々々々と念佛を唱へてゐました。

文平『其御方を誰だと思はつしやるわかるまいなあ。其御方は山城國淸涼寺の御本尊三國傳來の御釋迦樣さ。さうして仰有るには汝の病氣は前の世に作つた罪から起つたものだが、親を大切に思ふ汝の心に免じて許してやる程に、今から舊の丈夫な身體に復つたら一層兩親に孝行をしろッと言ふ御聲と共に眼が覺めたのだ。もう其時は御姿はなかつたが病氣は此通り治つて舊の通りの身體になつた。

ありがたい事ぢやアないか親父さんや。其處で私は五六日身體を養つたら、淸涼寺へ行つて御禮詣りをしてきたいと思ひますよ。』

何から何まで獨りで呑込み顔。怪しい擧動もピッタリ止むで血色も急に勝れてまゐりましたが、數日の後には旅仕度を整へまして何處から工面してきましたかタンマリト纏つた路用の金子を首に吊て彌よ淸涼寺に向けて出發する事になりました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

・〔問〕トマトソースは如何にして造るのですか、製造方法を教へて下さい（料理に志した女）

・〔答〕茹で裏漉をし保存して置くには口の確乎した瓶に入れ湯煎にかけ、蠟で口を密閉して置くのですが、口を開けたら直に使はなければ可けませぬ。何にしても腐敗し易いものですから素人が澤山

百事問答

△何でも御たづね下さい、一人一問の事。

△用紙は半紙、封狀のこと、締切五日

△雑誌へ出して困る方は返信料切手封入の事

製造して保存しやうとするのは考へものです。

・〔問〕記者さま私は本年十八歳になりますが今は田舍で自家の農業の手助けをいたして居る者です。學問は小學を卒業したばかりでございますが、日本赤十字社の看護婦になり度いと思ひますが、なれるでございませうか、少し詳しく取調べて御答へを願ひます。（長野縣　伊那女）

・〔答〕赤十字看護婦になるには高等小學卒業位の學力があれば十分です。そして身體强壯、品行方正でなければなりません。東京へ出て來なくとも地方――各府縣の縣廳に支部がありますので毎年募集して居る筈です。

・〔問〕工女を二三十人使つて居る者ですが、ためになる書物を讀ませたいと思ひます。貴會の友愛婦人誌上で御教示を給へ（岡山、大屋）

・〔答〕廉くて爲になる書物は金

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

森通倫氏の『貯金のすゝめ』山室軍平氏の『平民の福音』嚴谷小波氏の『日本歴史譚』(これは一冊十錢の讀切で、二十四冊に岐れて居ます)その他種々でございます。

●〔問〕月足らずに生れた滿一ヶ年の男の兒ですが血色が惡く齒も出ず、這ひもしませぬ。醫者にかける必要がありませうか(山里の女)

●〔答〕多分發育の遲いため、そんなになつて居るだらうと思ひますから、空氣、日光等に注意してお育てになつた方が宜しからうと存じます。お醫者に診せる方がよいと思ひます。

●〔問〕紙幣が破れて五六片になりました。日本銀行に持つて行けば新らしいのと取換へて貰へると云ふ事をきゝましたが、眞實でせうか。(京橋月島 一女)

●〔答〕破れたので合せて見て數字番號に相違ないだけの原形さへ整ふならば、日本銀行で取換へて吳れます。

英國の看護婦の働き

●〔問〕私は別に何うしたと云ふこともなく至極健康なのですが夜間兎角眠られないのです。そして其の代り晝間に眠くなることがあつて困ります。記者樣どうしたらいゝんでせうねえ。(逸名氏)

●〔答〕夜眠られない時には、葱を細かく刻んで枕頭に置いて寢れば、すぐ眠られると申します。試みて御覽遊ばせ。

●〔問〕着物へ石油がたくさ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ん汚みました。とる方法を教へて下さい。（秋野よし子）

〔答〕●石鹼水にアニリンと云ふ藥を少し混ぜた水で、そこを洗ふのです。

〔問〕●私は三年前に結婚いたしまして此頃離緣になりました。夫より離緣された時妻は夫に對し法律で損害の請求を爲すことが出來ませうか。（濱にて、△△女）

〔答〕●損害はどういふ物の損害でありますか、若し夫が特に定めた妻の財產を持つてゐたならば當然訴へ出で丶取戻す權利があります。又所有分明ならざる財產は夫婦の共有ですから妻が若し商業等に依りて得た財產が其中に加はつて居たならば同樣請求することが出來ます。又結婚前に持つて居たものを渡して吳れない時にも之を請求して取戻すことが出來ませう然し貞操蹂躪とか何とか六ケ敷い事を云つて慰籍料を要求する裁判になりますと、離婚の時の事情を詳しく承はらなければ、輕々しくお答へ申すことが出來ません。なほ詳細は、あなたが友愛會の會員であるならば本部の賴んである辯護士は、無料で鑑定その他出訴の手續までも致してあげます。

〔問〕●紡績工場は日本ばかりにありますか。（一工女投）

〔答〕●いゝえ、米國にも英國にもあります。あなた方のお友達は世界中にあります。

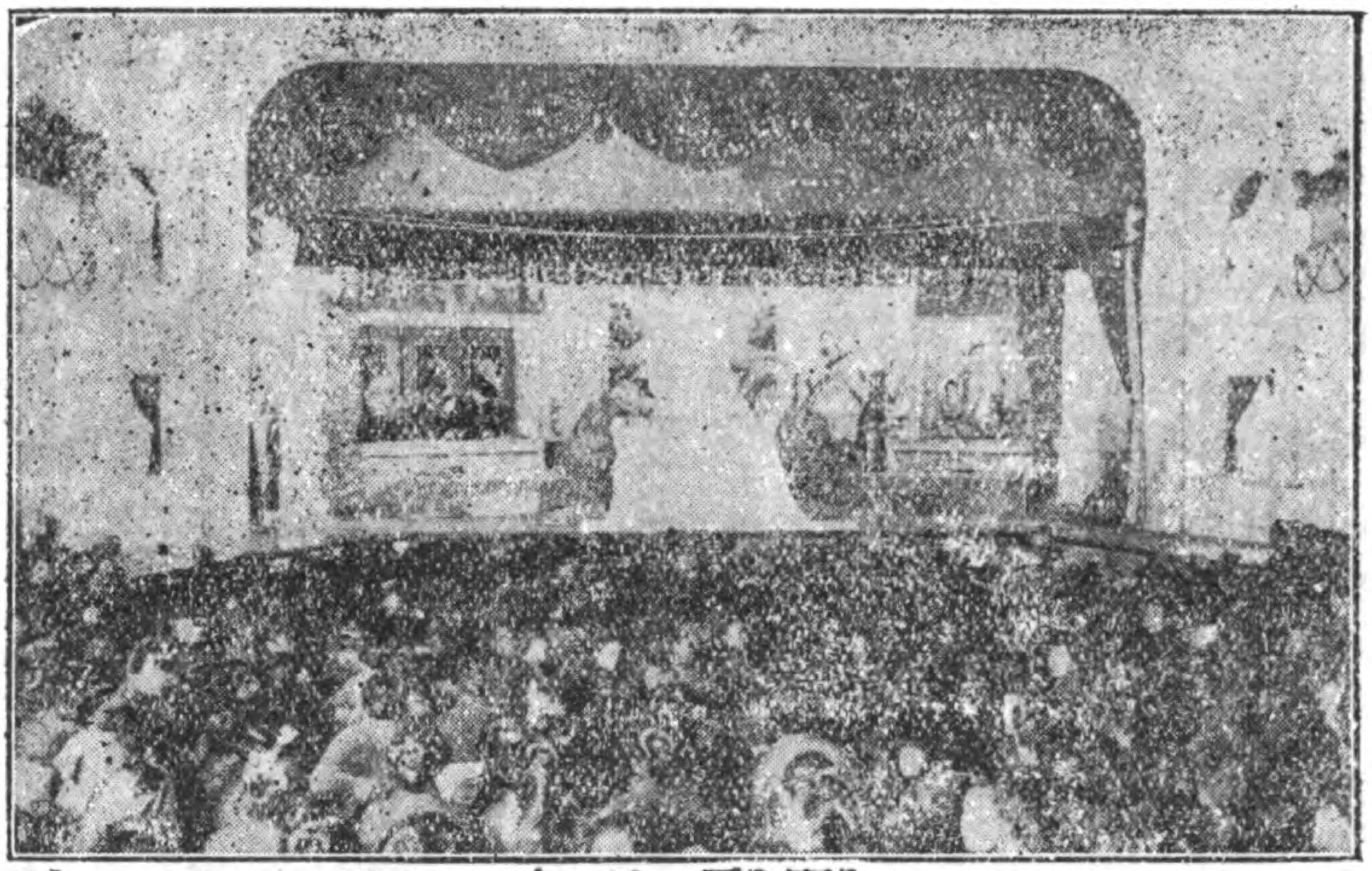
〔問〕●女子職業學校は何處にありますか（紅梅女）

〔答〕●東京市麴町區三番町に在ります。

〔問〕●鼠が出て困ります。防ぐ方法はありますまいかしら。（職工の妻）

〔答〕●鼠の出たり入つたりする口に、幅廣の昆布を貼つてごちんなさい。鼠は昆布を大變嫌ふものです。猫がお嫌ひでなくば、小さな猫を置いても鼠のゐなくなるのは、誰しも知つてゐる事ですが甚だ妙です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



御祭禮の舞臺

平澤紫魂

▼娘の命を助けて下さい

「お孃樣お願ひでございます、娘の命をお助け下さい、はい、お孃樣お願ひでございます。」と、見も知らぬ五十前後の女の人に泣きつかれて、雪子は何が何やらわからずに對手の顏を不思議相に見詰めると、五十女は無我夢中に、工場歸りのたそがれ時、薄暗くなつた地面の上にべたりと座つて髮の亂れた頭をペコ〳〵下げて、

「お孃樣お願ひでございます、いゝえ決して娘はどど盜賊ではありません、人樣の物をとるなぞと、そ、そんな、た、たいそれた子ではありません、通り魔がさしましたので、貧乏なので、はい娘の惡いのではありません。」

「まあそんな所にお座りになつて、さあどうぞお起ちなさいまし。」と雪子は對手の手を取つて助け起さうとした。

「そ、それどころではありませぬお孃樣、娘の大事でございます。」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「全體あなたはどなたでゐらつしやいます、おばさん」と雪子は靜かに聞いた。おばさんと呼ばれた人は雪子の言葉が耳に入らないやうに、頭ばかり頻りにペコ〳〵しながら懷中から竊ッと出したは小型の女持の懷中時計。

「お孃樣！」と血を吐くやうな聲で呼んで、おばさんは涙を拂ひ、

「此時計は娘が奪つたのではありません、はい決して娘がとつたのではありません、私が貧乏だから、はい親孝行のあの子が其爲めに魔がさして、はい、あの子がたいそれた盜みなぞ、け、け決してするものですか、私が惡いのです、親甲斐の無い私が惡いのです、はい私が、私が盜みをしたのです。」

「おばさんそれではあなたはおきよさんの阿母さんでゐらつしやいますか。」と雪子は聞いた。

「左樣でございますよ左樣でございますよ、だがねお孃樣おきよは決して盜みをしたのではありませんはい、決してそんな…………　…………」

雪子には初めて樣子がわかつた。昨日第十五號室の部屋長高田トシノが懷中時計を寄宿舍の中で誰かに盜まれた。寄宿舍にゐる工女はいろ〳〵調べて見たがどうも他人のものを奪るやうな惡い子はゐないで、とう〳〵其時第十五號室に遊びに來た通勤工女のおきよに其盜みの疑ひがかゝつたのである。常日頃から親孝行の評判が通りそれに工場へ入つてから一年あまり一時間も缺勤した事のない勉强家のおきよがなんでそのやうな惡い事をするものかと、雪子は今のさきまで思つてゐたが、おきよの母親が此時計を持つてゐる所を見ると、それでは矢張おきよが盜んだのかしら、で、雪子は母親の顏と其の手に持つてゐる時計とをまじ〳〵と見較べたがやがて靜かに斯樣聞いた。

「おばさん、失禮ですがおきよさんの阿父さんは何をしてゐらつしやいます。」

聞かれて母親はちよつと不思議相な顏をしたが、淋しい愛嬌笑ひをして、

「あの子の父親でございますか、はい、元は瓦斯會社へ出てゐましたが、永年の病氣で今はもうあの子に苦勞ばかりかけてゐましてね、」

「御病氣？」と聞きたゞして雪子は肯き、

「それは嘸お困りでせう。」

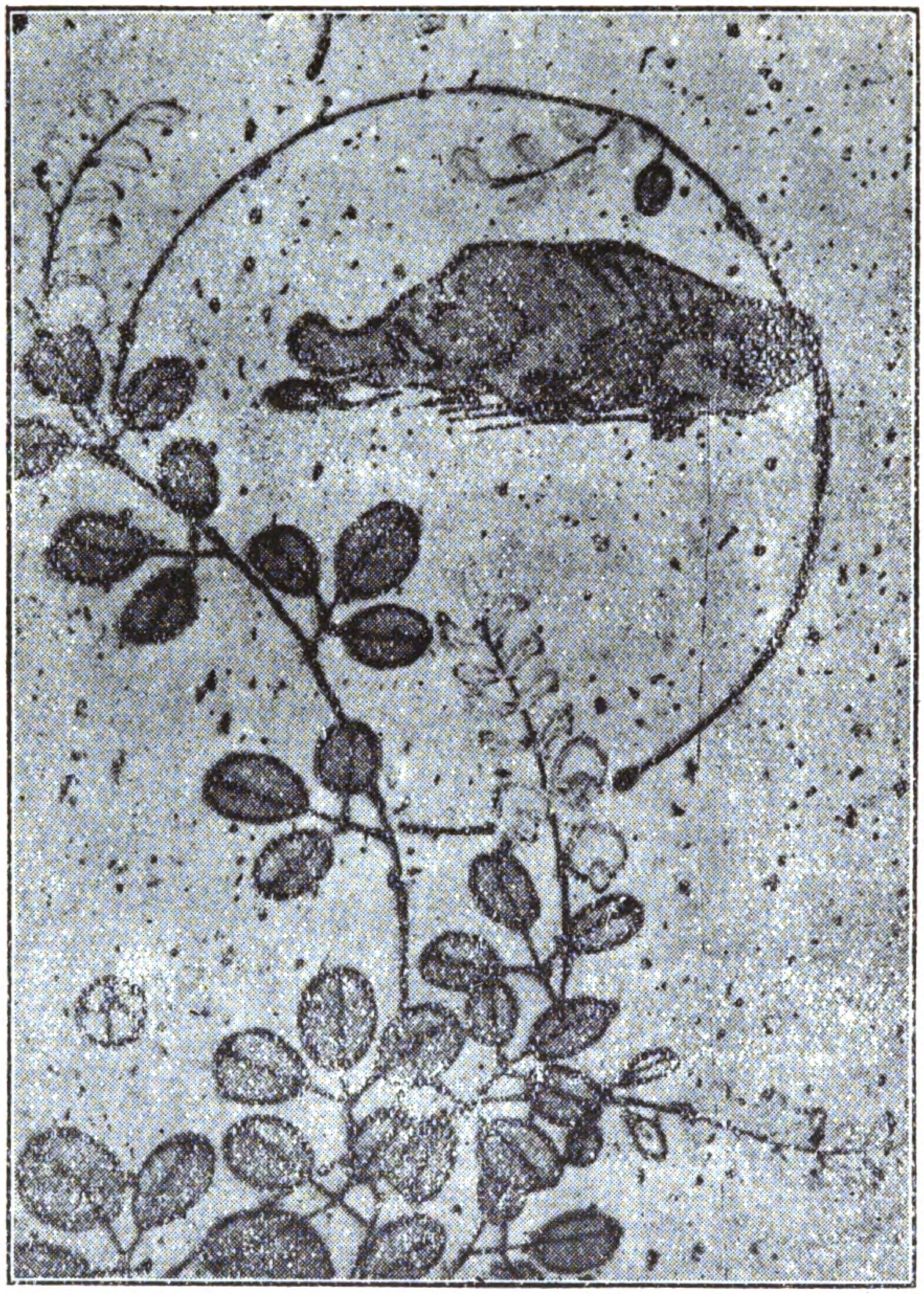
「それでもあの子が親孝行をして呉れますので、お孃樣」と母親は言葉をはづまして語り初めたが、急に聲を曇して、

「いゝえあの子の惡いのではありません、みんな私が惡いのです、時計を奪つたのは私ですお孃樣」

子供を思ふ親心なればこそこんなにわかり切つた噓も云ふのかと雪子は可哀相になりながら、しみじみと、もう仄暗くなつた路傍で耻も外聞も打忘れて咽び泣きに泣いてゐる此おきよの母親を見守つた。

「お孃樣お願ひでございます、あの子は未だ嫁入前の大切な身體でございます、もしも盜人の汚名でも着ましたら、あの子はもう生きてはゐられません、娘の命を什麼ぞお助け下さい。お助け下さいお孃樣此通りです。」と母親は手を合せて雪子を拜んだ。

「まあもつたいない、さあお起き下さい。」と雪子は母親を助け起したが、此場合什麼したものか思案に



萩に臥す猪武者や白き牙

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

餘つた。
「それではお孃樣此時計をお返しします故、什麼ぞ後生一生の御願ひです、娘の命をお助け下さ　。」とおきよの母親は猶も一生懸命賴み込んだ。
「困つたわねえ、」と雪子は小さな吐息を窃ッと洩した。
「へえ」と吃驚したやうに母親は雪子の顏を見て
「それぢや娘は助かりますまいか、」と心配相に聞く
「助かるも助からぬも無いけれど、工場の規則は私の力ではどうにも出來ませんもの。」
「あのそれではお孃樣のお力でも、でもお孃樣は重役のお孃樣ぢやありませんか。」
「重役の娘でも、たとい重役にしても工場の規則は曲げるわけには參りません。」
「…………………」
聲も出ずにおきよの母親はがつかりしたが、やがて狂人のやうになつて、
「それぢや私を盜人にして下さい私を、私が全く盜んだんだもの、」
「そんな事を被仰つても、誰も眞實にしませんわ」
「それでは什麼してもあの子を盜人にするんですねえ」と、母親は、他の人が無理にも自分の娘を盜人におとしいれるやうな氣で、聲を尖して云つたが、
「世の中には神樣も佛樣もあるものか、親孝行のあの子を盜人にするなんて、いゝよ〱、私にも量見があるよ。」
雪子ははら〱して、今にも飛び出して行かうとしたおきよの母親の袂を捕へて、
「まあおばさん氣を落着けなさい、あら恐い眼をなさるのね。」
おきよの母親は雪子の言葉が耳に入つて、其眼に雪子の顏が寫ると、又べたりと座つて、
「お孃樣お願ひです、何卒娘を助けて下さい。はいお願ひでございます。」と泣きながら、哀れみを乞ふた。雪子は默つて其肩に手を置いた。もうすつかり夜になつた。暗い夜の空に何所やらの工場の汽笛

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が鳴り渡つた。

▼盜人は私です

○○紡績會社の舎監室に時計を盜まれた第十五號室の部屋長髙田トシノと時計を盜んだ嫌疑者のおきよとが白髪頭の舎監の前に立つてゐた。舎監室の窓外を心細げに秋深い風の吹く夜である。

「默つてゐてはわかりませぬお前さんは模範工女と云はれる程に工場の成績もよいのだから、まさか他人の物を盜るやうなことはすまいが、お前さんでは無いかしらと云ふ

尾花路に星は流れて白兎

人もあるので一應調べて見るのぢやが、盜らないならば盜らないとはつきりお云ひなさい。什麽ぢやね盜らないのかね、それとも一寸した出來心でも起つたのかね、盜つたとしてもぢや、斯樣々々ぢやと正直に云つたならば必ず惡いやうには取計らはぬから、盜つたならば盜つた盜らないならば盜らないとはつきりお云ひなさい」と舎監は情深か相な聲でもの優しく問糺したが、おきよはたゞ眼に手巾を當てゝしく／＼と泣くのみである。

「泣くばかりぢやわからんね、」と舎監は苦笑をしな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がら白髪頭を心もち打振ると、其尾に就いて、部屋長のトシノが、
「お前さんがね盗んだと云ふのはちやんと見てゐた人があるんだよ、眞實にづう〳〵しいつて無いわ」と時計を盗られた腹立まぎれにがみ〳〵と罵つた。
「お前さんは默つてお出でなさい」と舍監
「でもあまり白々しいもの」
「お默りなさいと云ふに」と、舍監はトシノをたしなめて、それからおきよに向ひ、
「俺もねお前さんを可哀相に思ひます。聞けば父親が永の病氣で寢てゐられる相ぢやで、お前さんの宅の困つてゐるのも知つてゐるし、お前さんの父親孝行なのも知つてゐますぢや、お前さんが心から惡い娘で無いと云ふ事は俺ばかりでない、みんな知つてはゐるから必ず惡いやうには取計らはぬ。正直に云ひさへすれば必ず其身の立ゆくやうにしますでね、よろしゆごはすか、自分の爲めや親達の爲めを思つたら正直な事を云はねばなりませんだ、左様では無く嘘僞りを云ひますとね、お前さんばかりでは無い自然親達の迷惑にもなるやうになる。」
おきよは吃驚して、泣くのを止め、
「私の爲めに阿父さんや阿母さんもあの牢屋へ行くやうになるんですか。」
「まさか牢屋へは行かなくもよからうが、警察沙汰にするとお叱り位は受けねばなるまい。」
「あの叱られる？」
「それぢやでね、今此所で正直に云ひさへすれば警察沙汰にはしませんぢあで、よろしゆごはすか、よく考へて正直な事を云ふのぢや。」
「それぢやあの云ひますが」と、おきよが泣きじやくりながら口籠るを、傍からトシノが、
「まあねぐづ〳〵せずに、さつさと云つたがいゝぢやないの、嘘を云ふとほら警察へ行くんだわよ。」
「實はあの私貧乏で困るものだから……。」
時計を奪つたのでございますとおきよが云はうとした時、ふいと舍監室の障子を開けて入つて來たの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は雪子であつた。見ると其手にトシノが奪られた時計を持つてゐた。
「この時計を奪つたのはおきよさんではありません實は私急に之れを見て欲くなつたものですから、さあ私を罰して戴きませう。」と雪子はきつぱりと云ひ放つた。それを聞いた三人は吃驚した。
「そんな事はありますまい、お孃樣」と舍監。
「いゝえお孃樣ではありません、私は此工場の工女です、工女が出來心て他人の時計を盜み奪つたのです、さあ工場の規則通りにして戴きませう。」
「そ、それは嘘です、お孃樣は時計の一ツや二ツ欲くなればいつでも買へる御身分でごはす、何で盜みをするやうな卑しい事をなさるものぢやごはせん。」
「ホヽヽヽヽヽヽヽ」と雪子は笑つて、
「それが矢張出來心ですわ、此通り證據がちやんとあるぢやありませんか。私が時計を奪つたから私が時計を持つてゐます」と云つて、其時計を雪子は取上げた。
雪子は此會社の或る重役の令孃である。上野女學校を去年の春卒業して、世間普通の令孃ならばお琴やお茶に通つてお嫁入の用意をするのであるが、何と思つたか今年の春から此會社の工女になつて、眞黒になつて働いてゐるのである。何故令孃がそんな事をするか、白髮頭の舍監にもわからなかつたが、まさか他人の時計を盜みとるとは什麽しても舍監には思はれなかつた。何か原因があり相だわいと小首を傾けた。トシノは自分の思惑が外れたので、中腹になつて、雪子の手から時計を取ると、
「此時計は私のだから私が持つて行くわ」と荒々しく云つた。おきよはぼんやりとあきれてしげ〳〵と雪子の顏を見詰めた。
ザ、ザアザアツ……………。
外では心細げに秋深い風が又しても通り過ぎた。

▼娘の面を晒せ

十月の末の或る日、此會社の創立紀念日に機織神社の御祭禮をするが毎年の習慣であつた。角力にお芝居に競爭に、夜になると國風の盆踊り、團子も出ればおすもじも出る。おでんに洋食鏡餅。工女等の一年中の苦勞を洗ひ落す樂しい日である。けれども其樂しい中にたつた一つ心配で心配で堪らぬ事がある。それは一年の中に浮氣をしたとか惡事をした

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とか云ふ男工や女工を芝居をする舞臺の上に呼び出して、大勢の見たり聞いたりしてゐる前で、其惡事の始終を讀み立てゝ其人間を工場から追ひ出して仕舞ふのである。しかもそれは誰が呼び出されるものやら、其日になる迄は重役の人達の外は誰でも知らないのである。されば胸に疵持つ人達は萬一自分が呼び出されはせんかとびく〳〵ものである。重役は舞臺に呼び出す人間の尠いのを喜びにしてゐるが、大勢を戒しめる爲めには、什麼しても惡事の直らぬ人を氣の毒ながらも處分せねばならないのである。今日は丁度其日、朝の中は食堂を會場にして、欠勤の尠い人や、成績の良い人にそれ〳〵褒狀やら賞品やらを授與したが、午後になつてからはいよ〳〵舞臺の上で懲戒する人を呼び出す時が來た。誰と誰を呼び出せと命令する人は雪子の父の瀨沼專務取締役である。誰を呼出せと云ふかと思つて人々は固唾を飮んで控へてゐると、瀨沼專務は、他の工人の名は一人も云はず、

「瀨沼雪子を呼び出して下さい」と、我子の名前を呼んだ。聞いてゐる人達は吃驚した。父が大勢の前で我娘を懲戒處分する。そんな痛ましい事はあるものでない。けれど人々が何と云つても瀨沼重役は雪子を舞臺に引出せと云ふよりの外の事は云はない專務の此權幕に恐れて誰一人最早言葉を返す人が無い。泣くよりも辛い專務の胸底を押計りながら、第三工場の世話係は其事を雪子に傳へた。

雪子が其事を聞いた時、流石に顏色を變ないわけにはゆかなかつた。雪子が何不自由無い身で工女になつたと云ふは其所に深い望みがあつたからである世の中から卑しまれてゐる工女に眞底からの同情者になつて、人間らしい生活の人達になつて載きたい日本中の職業婦人が樂しく働き樂しく遊ぶ人になつて載きたい。之れが雪子の希望であつたのである。

それが、自分が惡事を働いて工場を追ひ出される人になる。あゝもう希望は消えた。自分はどんな辛い境遇になるもよいが、工女等の爲めに盡されぬ事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

になるが殘念だと思へば其胸の中は千切れる程であつた。

けれど、忽ち又雪子は思ひ返した。何事も運命である。自分の希望は此儘消え去るのでは無い。何等の方法で又此希望は屹度果して見せる。

斯樣に雄々しく思ひ定めてからは、雪子の顔は平常の通りになつて、わるびれる色なくしとやかに舞臺の上へと昇つて行つた。

▼舞臺の上

何千人と云ふ工場中の人達の前の、舞臺の上で瀨沼專務は雪子を起たしめ、

「皆樣、此瀨沼雪子と呼ぶ工女は、多少の學問のある身でゐながら他人の時計を盗みました。あまり敎育の無い身とか貧乏で困る人ならば、其所に多少の酌量する點がありますが、此工女はそんな點は絕對にありません、故に今日限り解傭をいたします。皆樣もよく／＼此工女の有樣をごらんになつて決して此樣な事をしてはいけませぬ。」と、高らかな聲で呼ばつた。聞いてゐる何千人の人達は誰一人として咡くものすら無かつた。雪子は默つて舞臺の上からみんなに丁寧なお辭儀をした。

其時である。突然群集の中から泣き出した女がある。人々が驚いて見ると、其女は叫び出した。

「違ひます違ひます。時計を盗んだのはお孃樣ではありません、私です、はい私です。」

其女はおきよであつた。おきよは尙ほ叫びながら舞臺の上に驅け上ると、瀨沼專務の前に身をひれ伏して、

「專務樣、時計を盗んだのはお孃樣ではありません私です、何卒私を解傭して下さい。」

「いゝえ違ひます、私です」と雪子。

「お孃樣！」とおきよは叫んだ、

「お孃樣有難うございます、御恩は一生忘れません私死んでも忘れません。さあ專務樣、私はお孃樣に助けて戴いたので。父が永年の病氣で藥代にも困

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つた爲めつゐ惡い氣を起しました。神樣のやうなお孃樣が何で盜みなぞなさるものですか。さあ私を解傭して下さい。」

瀬沼專務は犇と口を閉して默つてゐる。おきよは專務の默つてゐるのを見ると、此度は群集の方を向いて、

「ねえ皆樣時計を盜んだのはお孃樣ではありませんね、私ですね、確かに私ですね」と、泣聲で一生懸命叫び立てた。

其時群集の中から一人聲を上げて咽び泣いたものがある、と、續いて又一人、又一人、お終いには大勢の人間が思はず貰ひ泣きをして仕舞つた。此時、「皆樣！」と、第三工場の世話係が突然群集に向つて、昂奮した聲で叫び出した。

「皆樣、今度の此事件は何と云ふ美しい人情のからまつてゐる事でせう。此美しい人情は尠しばかりの罪を無くして仕舞ひます。私は皆樣の同意を經て此事件には一人の罪人も出さないやうに事務殿にお願ひ致したいと思ひますが如何ですか。」

「贊成」と、後の男工の中から一人聲を張り上げた

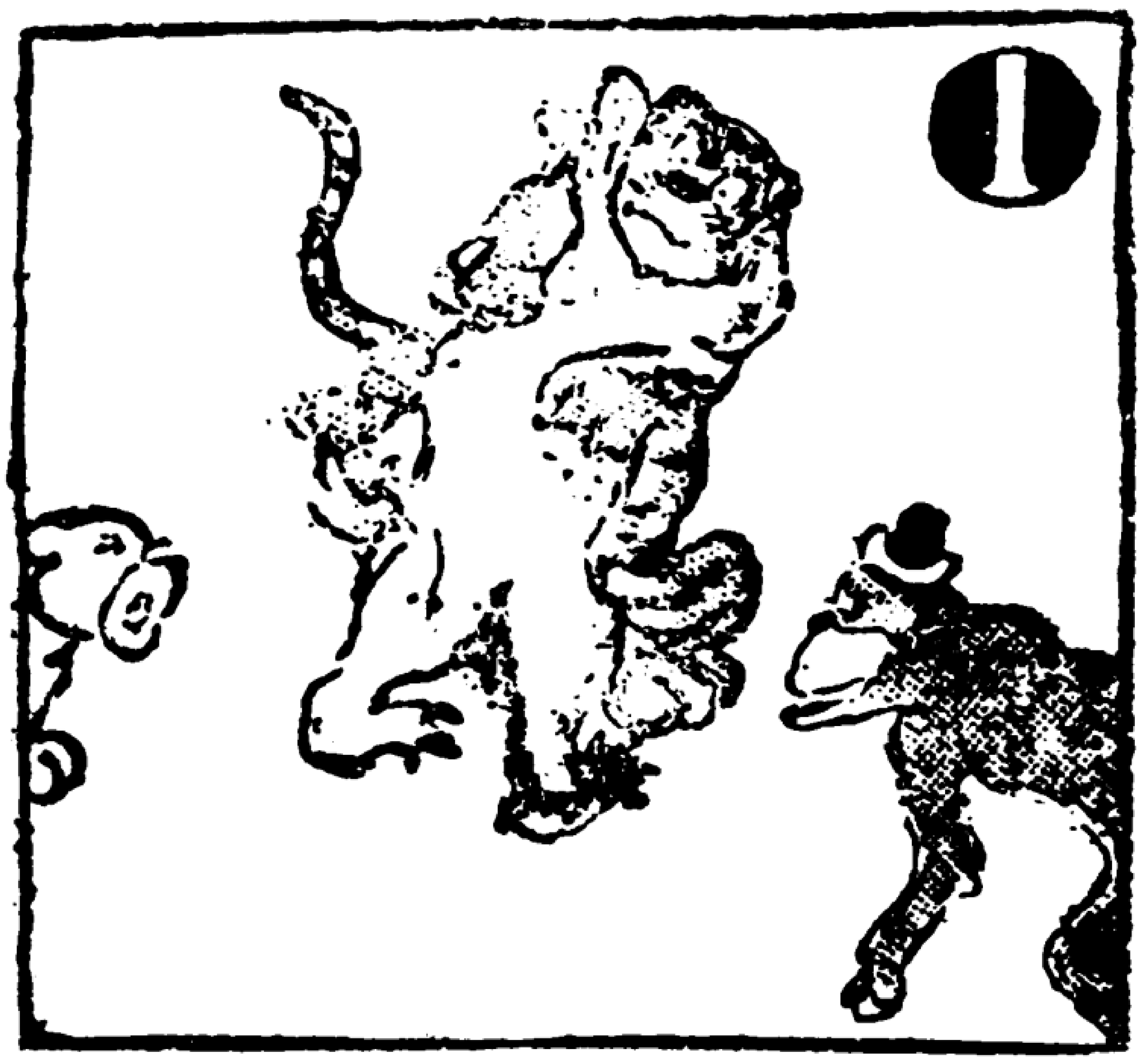
「贊成」

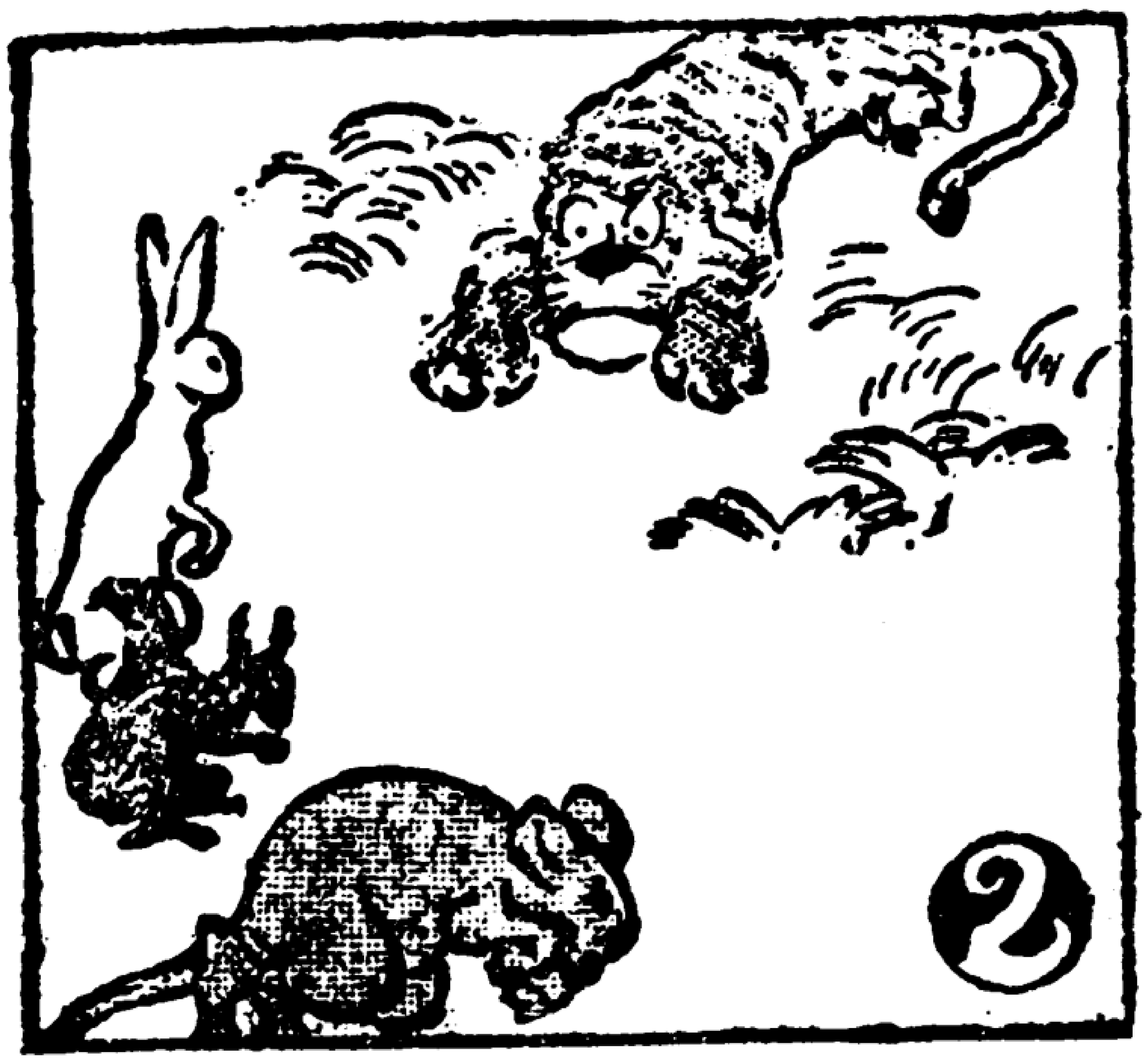
「贊成」

方々から同意の聲が起つた。と、右の方の工女の群から一人拍手したものがある。續いて又拍手が起つた。次には響の音に應ずるやうに所々方々から拍手と聲とが湧き漲つた、果は集つてゐた人全體が拍手喝采したやうに思はれた。其大多數の大なる同情よ。瀬沼專務は横を向いて此時初めて窃つと涙を拭つた。

御祭禮の舞臺の上で表れた雪子の心は誠に美しいものであつた。此後雪子は此人生の舞臺で、どんなに偉大なそして美しい芝居をする事であらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA





お猿と虎（オトギバナシ）

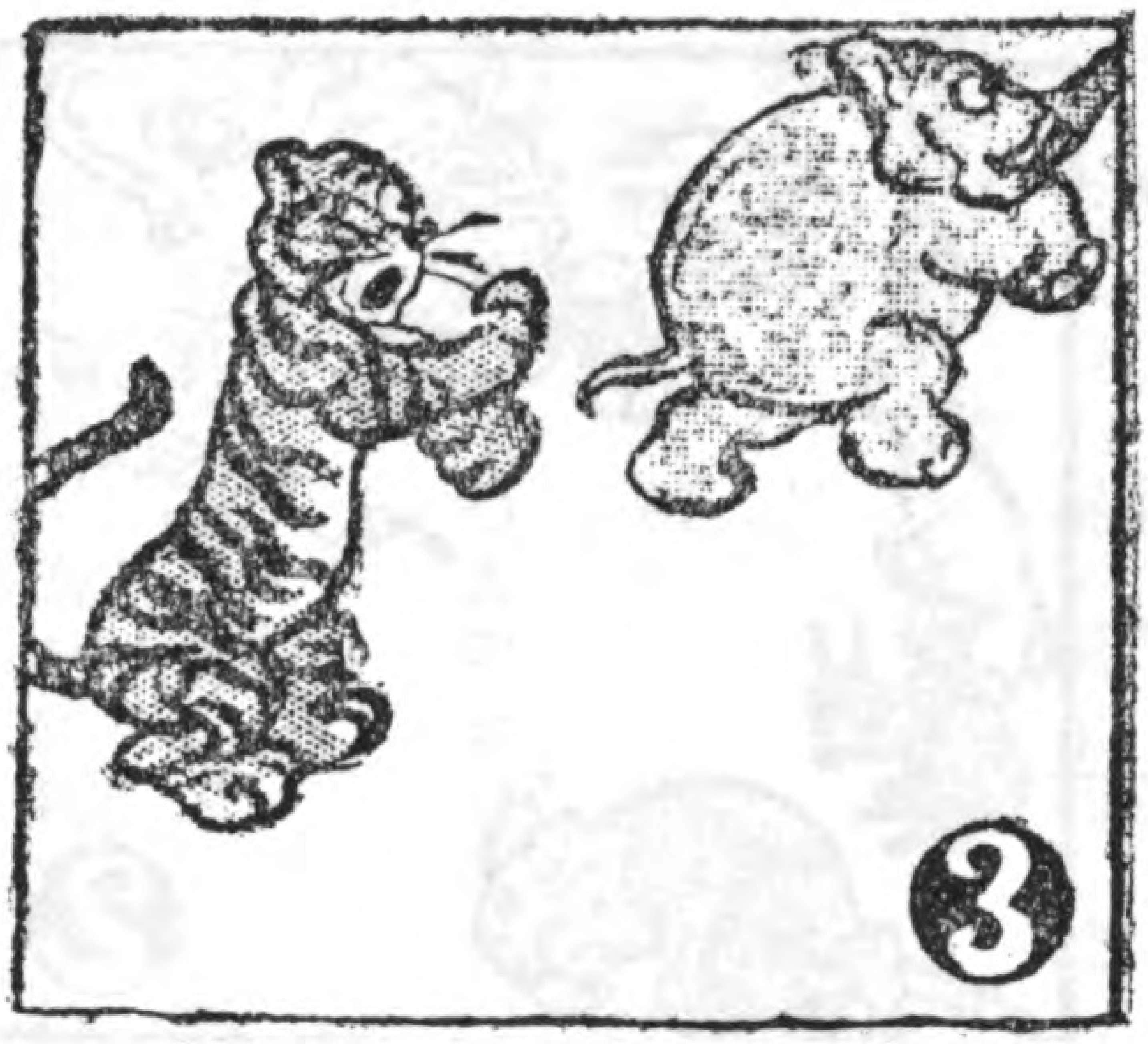
一

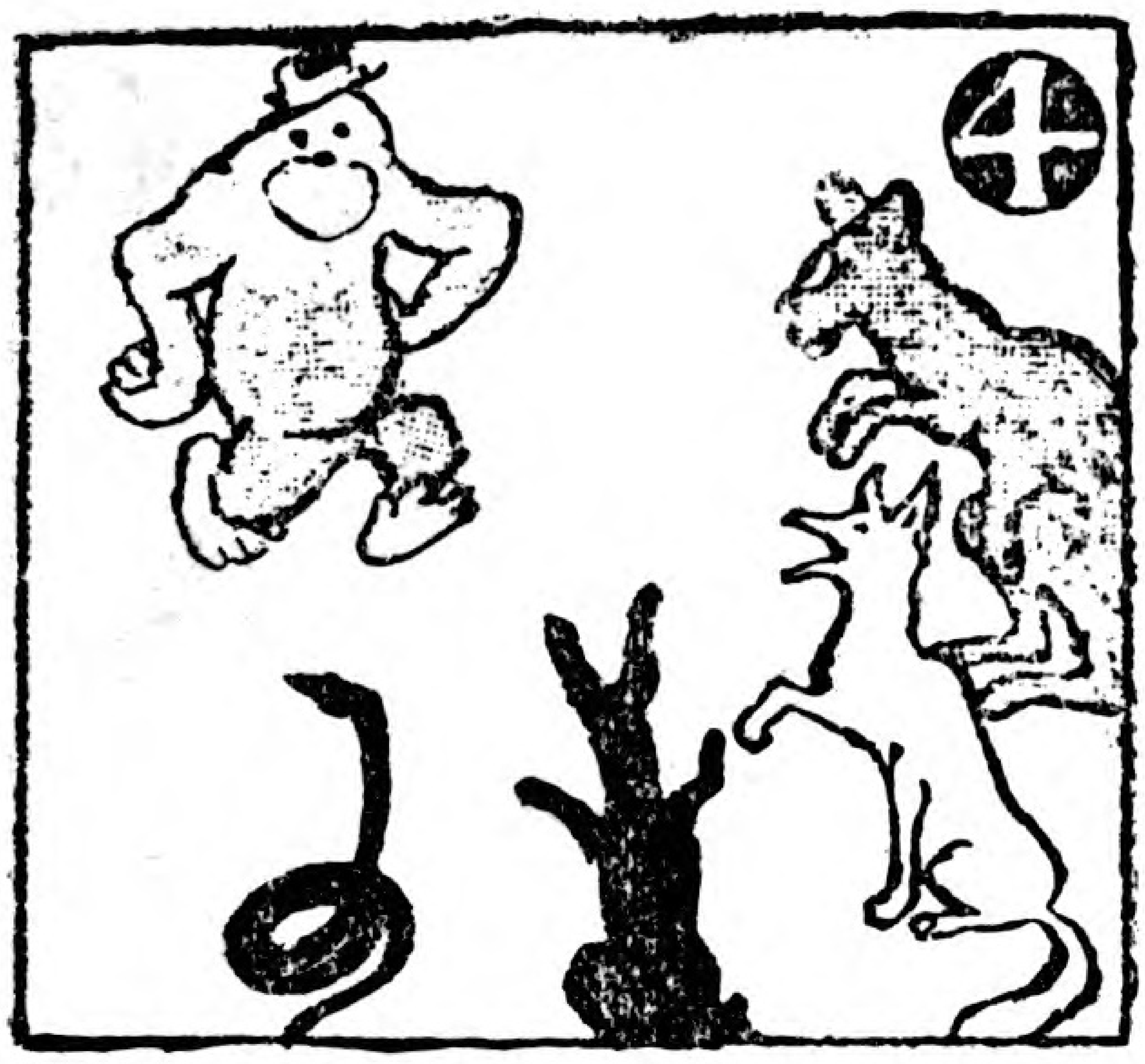
むかし〳〵山のなかで山神さまのお祭がありまして、色々な獸が集まつて相撲をとりました。狸は兎に勝ちました。狐は狸に勝ちました。犬は狐に勝ちました。鹿は犬を突き出して勝ちました。狼は鹿の小股を掬つて勝ちました。熊は狼に勝ちました。一番終ひに虎は熊と相撲つて揉み合ひましたがとう〳〵虎が勝ちました。

二

さあ、それからといふものは虎が威張り出しました。己に獸類のなかで一番强いのだ。皆が怖れる黒熊でも己が手にかけると、まるで手鞠か何かのやうに飛んでしまつたと言つて、山を歩く時他の獸類に出會ふと、屹度お辭儀を三遍させた上、家來のやうについて來させる事に極めました。他の獸類は腹が立つて仕方がありませんが、何分相手が虎の事ですから一寸手出しが出來ません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA





三

ある時象がその噂を聞いて、私が皆の仕返しをしてやると言つて、森のなかで虎と仕合をしましたが虎は象の鼻をつまむと、大きな象の體を獨樂のやうに揮りまわしました。そして

『やつ』

と聲をかけたと思ふと、象を玩弄具のやうに投げつけました。象は起き上つてのそ〳〵逃げ出しましたが、抓まれた鼻は長く伸びたまゝでもう癒らなくなつてしまひました、象の鼻の長いは其爲めです。

四

象を投げ出した虎は、以前にもまして一層ひどく威張り出したので、他の類獸は生きた心持は致しません、それを見かねて助けやうと思つて出て來たのがお猿です。お猿は力こそ弱いが山では一番の智慧者です。お猿は皆を集めて『及ばずながら拙者が一つ智慧を絞つて皆樣をお助けしませう』と言ひ出しました。前方からお猿の賢いのを知つてゐる獸達は何分宜しくとお辭儀をして賴みました。

五

お猿は虎をたづねて、心配そうな顔をして『どうも大變な事が持ち上りました私どもは貴方をお山の大將だと思つてゐますのに、今度飛んでもない強い奴が出て來ました虎なぞ弱虫だと言つてゐます。』と言ふと、虎は怒つて『何處にそんな奴が居るのだ、往つて仕合をしてやらう』と言ひました。お猿は『でも貴方が負けでもすると』と言ひますと虎は眞赤な顔をして『さあ、直ぐ往かう』といきり立ちました。

六

お猿は虎をつれて高い崖に往きました。崖の下には青い淵がありました。お猿は淵をのぞいて強い奴はこの下に居ますといふと、虎は怒つて淵を覗きました。成程淵のなかに大きな獸類が一つゐて眼をむいてゐます。それは虎の影なのですが、虎はそんな事は知りませんから、嚙みつかうと思つて、いきなり淵に飛び込みました。そしてとう／＼溺れて死んでしまひました。お猿の智慧者だといふ評判はまた高くなりました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十月の手紙

▼風見舞の文。（故郷の母へ）

新聞で見ますと、故郷は大變な暴風雨でございましたつてね、驚いて仕舞ひました。二百十日も二百二十日も無事にすんで、やれ〱と御安心なさいましたのでありませうのにまあ飛んでも無い災難でございましたね。お變りはありませんでせうか、お米の工合は什麼？心配で心配で堪まりませぬ、近い所ならば直ぐに飛んで行きたいのでありますが、それもならず、遙かに北の空を眺めては願くば被害の尠なかれかしと祈つてゐます。先づは暴風雨のお見舞までかしこ

▼火災見舞の返事（友へ）

有難うございました。まるで夢のやうなの、ふいと眼が覺めると、障子がぽつと赤くなつて、ばりばりッて音でせう。大變よッて思はず聲を出すと良人も眼を覺ます。小供が泣き出す。母がうろ〱する有様でせ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う。大急ぎで品物を運び出すと、全く不思議な氣がします。常日頃は重くつて持てさうもない簞笥や火鉢が夢中で持てましたわ。お陰様で品物は大部分出ましたが、貴女に載いた料理の御本ね、あれがどさくさまぎれに何所へ行つたかわからず口惜しくつて堪まりません。貴女の旦那様には早速お驅け着け下さいまして有難うございました。未だ氣がせか〳〵してゐます故、手紙の文句も後先になつておかしいがごめん下さいね、いづれ御面會の上いろいろお禮やらお話やらしたいと思ひますが、先づは類燒御見舞の御禮迄早々

▼妻より（轉勤せし夫へ）

拜呈、工場なれず土地馴れざる御生活、御心勞やら御不自由やらさぞかしと御察し申上げ候、必ず御無理遊されぬやう伏して願上申し候

お別れせしより數へ見れば二十日あまりに過ぎざれども、一とせも經ちたらん心地仕り、世の中も又秋深み行き候まゝ、心細き風の主無き机の上を訪るゝを見れば、吉雄もきみ子も淋しき顔爲すがいじらしく候。兩人とも身體は無事、其點は御安心遊されたく候。あと五六日經たばおん許に參らるゝ身には候へども、朝夕急に冷えを覺え候故袷と羽織お送り申上候。水あたりなど遊ばされぬやう、御勝氣のあまり薄着を遊され

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬやう何卒何卒御願ひ申し上げ候。

▼軍隊にある兄へ（妹より）

御兄上様、庭の櫻の葉お手紙の如く黄ばみ初めました。梢の葉の殘り尠なくならばお歸りの事と思ひますれば、今年の櫻だけは早く葉の落ちよかしと祈り居るもおかしうございます。あと五十日。全くあと九十日なのね、其時になると兄様は眞黑な顔をしてお歸りになる。私停車場迄出迎へる。兄様が眞黑な顔てお笑ひになる。ホヽヽヽ、嬉しいと思ひます。機動演習には今年はどちらに御出でになられるのでせう。私達の國へお出でになるとよいんですけれど、左様して兄さんが宅へお宿りになる。眞黑な顔でお笑ひになる。まあ又眞黑な顔つて書きましたわ、でもどうしても兄さんは眞黑なお顔をしてゐらつしやるやうに思はれますもの、此間の御寫眞を見ても、それからお手紙を拜見いたしましても、眞實にどんなにお變りなさいましたでせう。私だつても二年お目にかゝらないんですもの、隨分それは變りましたわ。つて、人が云ひますから私も申上げます。今日は十月一日の午前八時二十二分。あと五十六日と幾時幾分か經つとお目にかゝれるんだわね、ではお兄上様。左様なら、御機嫌よう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

懸賞判じ繪

此娘さんは何をしてゐるのか絲の先が見えないのでよくわかりませんわかつた人はお答ひ下さい。

●注　意

一、答はハガキ住所姓名はハッキリ書いて下さい
二、締切は十月十日
三、正解者十名に本をあげます、正解者澤山の時はくぢびき
四、宛名は東京三田四國町友愛會婦人部

前號の懸賞解答

前號の字探しは向つて右は月を見てゐる人左は蟲の音を聞いてゐる人です。

□當　選　者□

正解者百二十三名の中左の方々が御當選になりました。

保土ケ谷	佐々木ふみ	京都	齋藤よしえ
本所	藤田政子	兵庫	吉澤のぶ
大坂	寺西春榮	越後	君野かつ
東京モス	大槻ミナ	深川	石田菊子
保土ケ谷	櫻井せつ	諏地	平澤さだ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛文藝

短文

(一等) 高い煙突

茨城縣日立村 三澤よし

「左樣なら」と嬉し相に、又悲し相に云つた木村さんのお内儀さんの言葉が、朝の九時頃、夫を工場へ送つて勝手元が片附いて、ホッと一息吐くと同事に思ひ出されるのが、此頃の習慣となりました。

「左樣なら」

暖南の國の工場町から此の鑛山へ移住して來た職工は十家族ばかり、其お内儀さん達はみんな山の空氣が恐ろしくなつて、夫を捨て生れ在所へ歸つて仕舞つたのだわ

そして天にも地にも替へ難い仲よしの木村さんのお内儀さん迄とう〱お歸りになつたのだ。「左樣なら」噫

障子を開けて赤澤山を見ると、世界一の高い煙突からもく〱と出る煙は、横走りに故郷の方へ走つて行く。今日も又雨になるんだわね。

(評)悲劇である。重大な社會問題である。此文は規定より過ぎてゐたが、其主旨に贊成して採る事にした。

(二等) 電車の音

都にて 渡邊たけ子

此度の宅も又電車の音が聞えます、何所へ逃げて行つても、追ひかけるやうに電車の音はついて來るのです。夜ばつちりと眼を開いてしみ〱と其音を聞く時があります。左樣すると「私だつて矢張苦しく悲しいのです、そんなに呪はずに下さい」と電車が泣きなが

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら走るやうに聞えます。

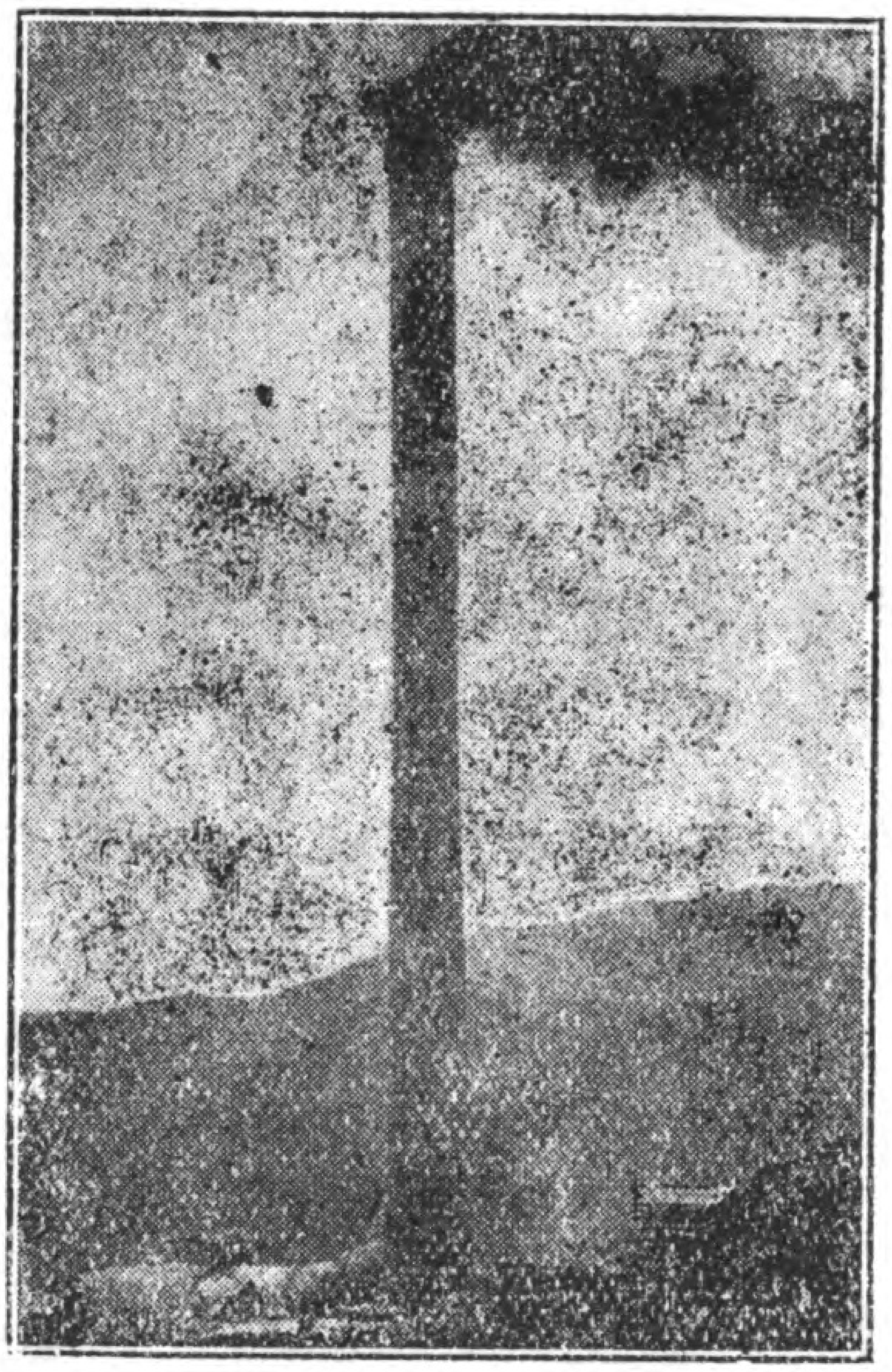
（評）都會の人の悲哀である。此人の文は何所かに人の心をひく所があります

（三等）　御祭禮

芝三田　野の草

印半纏に三尺帶。奴頭の可愛い鬘を冠つて、小さな可愛い煙草入を腰にさし、豆しぼりの手拭を肩にかけて姉さんから顏を綺麗にお化粧して貰つて徳坊は之れから神輿を擔ぎに行かうとして、あまり急いだのでばつたり宅の前で倒れた、泣いちやいけないわと云はうとしたら、常とは違つて徳坊は直ぐに立上つて、力んだ顏をして驅けて行つた。

ワツショワツショ、ワツショワツショワツショ何所からか大勢の人聲がする。



◎蟲の夕

保土ケ谷工場　佐藤ヨシノ

人影が一ツ……二ツ……帷子山の山陰から出た水道工事の土工さんたちもお終ひの汽笛に連れて工營所の門に集つた。東光寺で夕暮の鐘がボーンと鳴り響いた時、富士紡工場の電燈がパツと點火された。淋しい夕べである。草叢に虫が悲しい聲で唄つてゐた。

◎秋晴

荏原支部　山田幸子

枝折戸を開けるとせいの高いコスモスが見える。ずつと先の方でギキンと花鋏の音が聞える。誰かしらと思つて行くと、黒繻子の襟をかけた荒い縞の袷に、紅の勝つたメリンスの帶「オ、妙さん」妙さんは一寸振向いてニツコリ、コスモスの花束を持つてお立なさつた秋晴の澄んだ空氣を掠めて赤トンボがいくつもいくつも飛んでゐる。平和な自然の園には早くも秋は立ち初めたのである。

◎蚤の夜

保土ケ谷　佐々木ミユ

工場服を浴衣に着替へた私は、蚤を避ける爲め梧桐に月の照る庭へと歩いだ。ベンチに腰を下し友愛婦人を繙いてゐると、いつの間にやら、うつとりとした。

はつと氣が付くと、寄宿舍の就床鈴がケタゝマジク響いてゐた。もう寢ねばならぬのだ寢るのは樂しいけれど、あの蚤の惡魔何とかして蚤を驅除する方法はないものか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しら。

新體詩

◎蟲

電灯の下の青疊に落ちた小さき
蟲
青き赤き黄金色、さては白銀の
光ある……
手に取て　灯にかざせば
指をめぐる紅の血潮に點をうつ
た蟲
毛筋とも見ん……細き足……
蟲の精一杯の力は
私の尖き神經をそゝる。

選者曰く「作者住所氏名御一報を乞ふ」

和歌

王子支部　姫百合

◎宵暗に秋草原を訪へば
白を湖、此處にかしこに

◎見る人の心にまかせ森の上に
さやかに出し秋の夜の月

江東支部　藤井ハン

◎懐しき友の面影ゑがきつゝ
我れは川邊に彷ひるかな

深川　わき子

◎滿月の今宵を一人野に出て
物を思へば松虫の鳴く

◎つれ〳〵の夜ぞ松虫を友にして
「友愛婦人」に零す涙よ

荏原支部　山田幸子

◎空晴れて柿の實赤く色づきて
淋しき秋を小鳥うたひぬ

◎夕立の止みにし後の靜けさよ
虹かけ渡す夏の空かな

◎里の子の刈殘したる夏草に
混りて咲ける姫百合の花

◎秋雨に打續き行く荷車の
わだち重たし黄昏の街

磐城支部　山崎テウ

◎友愛の文字にいそしみ働かん
末は國家の爲めとなるなり

俳句

保土ケ谷　佐藤ヨシノ

◎朝顔や出勤前の庭歩行
◎桐一葉思はず三歩下りけり

江東支部　藤井ハン

◎友愛の文字こそ戀し秋の夜半
◎風鈴の名殘を止む秋の風

荏原支部　山田さち子

◎夕立や晴て聞ゆる蟬の聲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎病む友の心つくしやきりぎりす
◎叱られてほうづき隠す袂かな

王子支部　姫百合

◎秋草や路傍は狭き虫の聲
◎こほろぎの飛出しけり蚊帳の中
◎よき風に乳出したるはづかしき

深川　わき子

◎古寺に客有る夜や虫のこゑ
◎古塚に虫の聲聞く夜の淋し
◎虫鳴くやとなりの家を覗きけり
◎しまひたる白地又出す殘暑哉
◎溫泉の宿の廣さや今朝の秋
◎朝詣で露踏む人の足白し

磐城支部　山崎テウ

◎百姓の畑打爲すも國の爲め

保土ケ谷工場　佐々木ミユキ

◎朝寒や別れの惜しき床の中
◎長き夜の友は友愛婦人かな

□倶樂部□

△記者樣賞品有難うございました（大野ふく子中山ゆき子大橋きふ子）

△誌上の中山ゆき子さん黒川フサ子さん何卒御交際下さい（府下王子町下十條一、四七五大野ふく子）

△請地の古川花子樣、保土ケ谷町阿ク見樣賞品が歸つて來ました。住所をはつきりお知らせ下さい。（記者）

△渡邊たけ子樣、前號の初秋懷しく拜見いたしました。何卒お振へ遊ばせ此後よろしく御交際願ひます、秋も深くなり行きます、無詩情が湧然となさるでせう。（本所區吉岡たけ子）

△生意氣のやうですが、前號の友愛文藝の皆さんのお作を批評いたします。短文の一等も惡くはありませんけれど、何だか泣蟲らしくつて厭ですわ、それよりも二等の最初の悲哀の方に私は共鳴します。同じい泣蟲でも世間をよく知つた空想の無い所に價値があります（惡口屋）

△記者樣、此間本部へお伺ひしやうと思ひましてお友達と四人で門の所迄行きましたが、何だか入りにくゝつて止しました。お伺ひしましたら稻葉先生にお目にかゝれませうかしら（川崎にてとく子）

□稻葉さんは今御病氣でお休みです、本部へは御遠慮なくお入り下さい（記者）

懸賞募集規定

▲短文（一人一篇）一行二十字詰十行以內
▲和歌（一人五首以內）
▲俳句（一人十句以內）
▲一口ばなし（一人二文以下）
▲賞金、一等各一人（一圓）二等各（一人五十錢）三等各一人三十錢）
締切每月十日）

注意

投書は女子に限る事、用紙は半紙へ書く事、住所氏名は明瞭に書く事、宛名は東京三田四國町友愛會婦人部

＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎婦人部便り

左の方々は新らしく會員になられました。皆様に歡迎して戴きます。

本所支部（八十名）

洞口キメヨ　丸山スミ　花田セヨ　庄司タケ　中塚ヨネ　佐藤ウメヨ　山本タケ　今ミサ　佐藤コウ　阿部チヨ　渡邊ミネ　淺間ヨネ　古川キク　山口マツ　山内ミワ　藤波チヨ　諸タケ　兒玉サダ　女鹿キサ　高橋タメヨ　工藤ハツヨ　鈴木スズ　達會部ノリミ　小田島コヨ　遠藤チヨセ　岡本ソデ

鈴木リウ　出雲ハツノ　佐藤マサエ　武田クラノ　大内スズ　眞壁ハツヨ　山口キクノ　星野キン　佐藤ヨシノ　大友ヤエ子　佐藤スズ　齋藤カネヨ　木皿ハルノ　針金キヨミ　神カネ　影山フク　澁谷キヨ　熊谷カメヨ　成田マエ　千葉ヨシノ　越川ハル　三浦カネ　渡邊ケサ　佐藤マコト　佐藤イツ

鈴木シサ　佐藤ツル　吾妻ヨシ　和田セツ　黒坂イト　金山スエノ　佐々木トク　佐藤マサエ　杉山トミオ　小山マサイ　櫻田スヤ　遠藤レエノ　松林シゲ　渡邊エイ　近内マキノ　佐藤キクエ　菊田ブジ　本鄕サキ　渡邊トミノ　鈴木カネヨ　大關マサ　松田ナツ　菅原ヤス　今野シケ　三浦ヒサ

常盤支部（三十名）

佐藤シス　志子田コン　大石ハル　澤田イマ

山本イチ　岡本ヘナ　星野谷キヨセ　阿部ヒサノ

高橋トラ　渡邊サン　阿部リン　小野寺ウメノ

佐藤ヒロ　伊藤トミエ　菅原ツギヨ　茂泉チヨノ　植木ツタ　加藤サユ

近藤モト　佐々木マツエ　中鉢ナツエ　八木沼ヨシ　陶山ブサ　小金森シヨノ

庄司キヨシ　八木フミ　千葉マサヨ　赤井アサジ　朝妻チヨウ　塚本カメコ

荏原支部（十四名）

西浦サリ　藁科チヨ　高山イト　石井チヨ　田中トヨ

山下ヨウ　小池アヤノ　田島キヨ　渡邊セツ　金田キヨ

加藤シゲ　池尾コト　小林フサ　竹澤シゲル

小山清さん扱ひ（十三名）

志賀フサノ　三輪リン子　村木コウ　木田コウ　小山清

岩田ぬい　鈴木コト　川島しげ　松村ツむ

江口ツオ　森元キクイ　園邊よし　高橋トミ

長倉支部（三名）

淺井マサ　佐川シチヨ　高橋キネ

代々木支部（三名）

中島ケサエ　齋田ウメ　下島クラ

磐城支部（二名）

栗川マツエ　金子キク

廣野支部（二名）

櫻内ヤエ　白戸キン

王子支部（二名）

市村つぎ子　曾根たけの

綴支部（一名）

伊東ワカ

盤城支部婦人部

皆さん一寸申上ます、最早初秋と相成りまして何んとなく心細き感じが致します、而し本會の活動には大分宜しき期節になりました私は薄學短才の者でありますが、先月より磐城支部の幹部の末席を汚す、吉田タカと申す者です。何にしろ未熟の者ですから、先輩諸姉様の御指導を願いまず。機關紙上で毎月拜見致しますと、我が磐城地方各支部の婦人部も、非常の勢力を以て發展致して居る様ですが、是以上皆さんと力を合せ努力致しまして、來る拾月頃迄には、貳百名以上も御仲間を御紹介致し今秋本部の稲葉先生を御招待の上婦人大講演會でも開催したいと思つて居りまする。で、我が幹事長梅津さんにも時々話合て居ります他の支部の幹部諸姉様も、此の意味を了とせられて、今少し會員を御紹介して下さいませんか、斯く御願ひする私も、出來る限り活動いたす決心であります。お始めて御詞申上るのに、斯る大言を申しては失禮でありますけれども、熱心の致す處を御賢察の程御願申上ます尙秋冷の候皆々様御身體御保養專一の程併せて本會の發展を祈上ます。（磐城支部委員　吉田タカ子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月刊雜誌『友愛婦人』

▲代金は總て前金を申受ます。

▲御送金は振替貯金 郵便切手 代用の三種ある。

▲振替貯金は尤も簡便確實であります。

▲拂込用紙は郵便局で無代で呉れます。

▲振替貯金の口座番號は東京三一五七

▲郵便の爲替の時は『受取人宿所氏名指定欄』に東京芝區友愛會本部と御書き下さい。

▲切手代用は一割増の事。

▲着金の時は直ちに送本し別に受領證を出しません。

▲御送金の報知、註文、問合は會計部宛に願ひます。

▲御轉居の時は新舊兩方の住所を御書き下さい。

定價

冊數	定價	郵稅	合計
一冊	十錢	五厘	十錢五厘
半ヶ年分六冊	六十錢	無料	六十錢
一ヶ年分十二冊	一圓十錢	無料	一圓十錢

廣告料

等級	一頁	半頁	四半頁
特等	三十圓		
一等	二十五圓	十七圓	九圓
二等	二十圓	十三圓	七圓
三等	十五圓	九圓	五圓

大正六年十月號
大正六年十月一日 毎月一回發行【十月號】

不許複製

東京市芝區三田四國町二番地
發行兼編輯人 坂本正雄
東京市赤坂區田町七丁目三番地
印刷人 小野寺豊彦
東京市赤坂區田町七丁目三番地
印刷所 三洲舍

發行所 東京市芝區三田四國町二番地
友愛會本部
振替東京三一五七 電話芝五八五五

發賣所 ◎東京堂 ◎同文館 ◎北隆館 ◎良明堂 ◎東海堂 ◎文影堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友愛會會長　法學士　鈴木文治　著

勞働叢書
第一編

工場法釋義

全一冊美本
定價十五錢
郵税金二錢

昨年から實施になつた**工場法は何人でも心得て居らねばならぬ**ものだが、中にも工場の中に於て働いて居られる方は、よく之を心得て居れば大變便利であります、工場法實施以來、其説明の本は隨分澤山出來ましたが、本書の如く**定價が安價く文字がわかり易くて、簡單に便利に出來**て居るものは他にございません。そして働く人々の立場から解釋し説明致してありますから、友愛婦人の讀者にとつては眞に大切な本でありますす、**十册以上の申込は割引**があります。

發行所　友愛會本部
東京市芝三田四國町二
（振替東京三一五七）

大正六年六月二十八日（第三種郵便認可物）（毎月一回一日發行）
大正六年九月二十五日印刷納本（十月號）
『友愛婦人』第十號
定價金十錢　郵税一錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本社会運動史料 機関紙誌篇 [illegible]回配本

友愛会婦人部機関誌 友愛婦人 [illegible]

1978年7月26日発行

編者 法政大学大原社会問題研究所
総同盟五十年史刊行委員会

発行所 財団法人 法政大学出版局
〒106 東京都港区南麻布2-8-4 TEL. 03(453)0717 振替・東京6-95814

本文製版・印刷／平文社 製本／昭栄堂製本

3336-52068-7710

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

刊行のことば

法政大学大原社会問題研究所
総同盟五十年史刊行委員会

一九六九年は大原社会問題研究所創立五十周年に当たる。研究所が、一九一九年大阪に創設されてから今日まで半世紀、社会運動は各種の分野で波瀾と曲折とをくりかえしつつ今日にいたった。研究所はこの間、労働運動・農民運動・無産政党運動・水平運動・婦人運動・その他さまざまな分野で作成された機関紙誌・報告書・ビラ・信書等の資料類の蒐集につとめて来た。これらの資料は、いずれも多くの組織や有名無名の運動家たちの血と汗によってつづられた苦闘史の産物であり、社会の貴重な共同財産である。それは一研究所の書庫において私蔵されるよりは、社会運動関係者・研究家あるいは広く一般の読者にむかって公開されるべき性質のものである。研究所は、創立五十周年記念事業の一つとして、逐次これらの資料類を整理編成し、公刊することを決定した。

総同盟五十年史刊行委員会は、一九六二年、日本労働組合総同盟がその前身である友愛会から数えて創立五十周年を迎えたのを記念して設置された。そして『総同盟五十年史』(全三巻)は、昨年その完結をみた。この編纂過程で、内外の協力を得て友愛会機関紙『友愛新報』をはじめとする友愛会・総同盟関係の資料が集められた。刊行委員会も研究所とまったく同じ考え方から、本史の刊行とともにその若干の覆刻・刊行をすすめてきた。したがって、研究所の「日本社会運動史料」の企画は、刊行委員会としても大賛成であり、従来の刊行委員会の計画をこれに加えることに喜んで同意した。

こうして、ここに研究所と刊行委員会の共同作業により、友愛会・総同盟と社会民衆党関係の諸資料が、「日本社会運動史料」の一部として刊行される運びとなったのである。われわれは、社会的義務といえるこれらの資料の覆刻・刊行の事業を万難を排して遂行していくつもりである。

理解ある関係者・一般読者の変わらぬ御協力と御援助とを期待してやまない。

一九六九年九月一日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

RETURN TO → **EAST ASIATIC LIBRARY**
208 Durant Hall 642-2556

LOAN PERIOD 1 **1 MONTH**	2	3
4	5	6

ALL BOOKS MAY BE RECALLED AFTER 7 DAYS

DUE AS STAMPED BELOW

~~APR 29 1992~~		
MAY 22 1992		
REC'D		
SEP 30 1993		
FA!		

UNIVERSITY OF CALIFORNIA, BERKELEY
FORM NO. DD9, 38m, 4'77 BERKELEY, CA 94720

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA